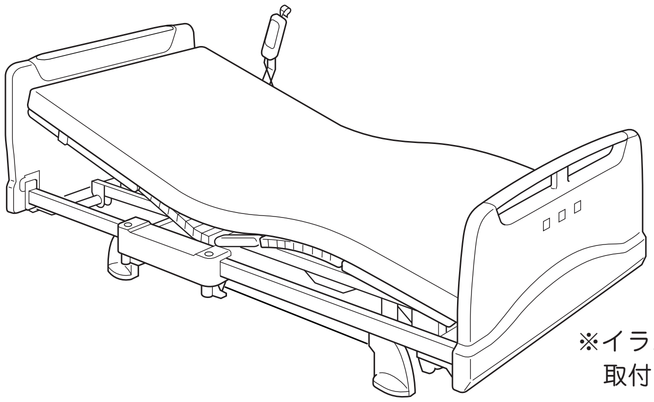
PARAMOUNT BED

取扱説明書

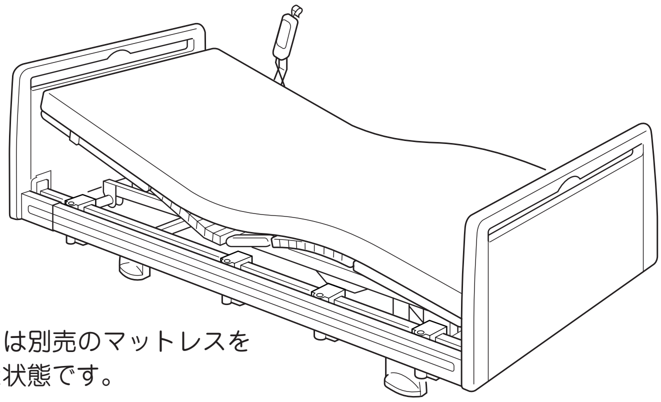
7K00150000A6

KQ-903,913,923,933

在宅ケアベッド アウラ21



※イラストは別売のマットレスを
取付けた状態です。



まえがき

このたびは、**在宅ケアベッド・アウラ21**をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
この「取扱説明書」には、ベッドを安全にお使いいただくための注意事項、組立・分解の方法や使用方法などを記載しています。

- **ベッドをお使いになる前に、必ずこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しく安全な取扱方法を理解してください。**
- ベッドで療養する方ばかりでなく、介護する方もこの「取扱説明書」をよくお読みください。
- この「取扱説明書」はお読みになった後も、いつでも見られる場所に保管してください。
- お買い上げの製品は、改良などにより、この「取扱説明書」の内容と一部異なる場合があります。
- ご不明な点がありましたら、お買い上げの販売店または直接弊社まで、お問い合わせください。

パラマウントベッド株式会社

もくじ／使用目的

ページ

1 主要部分のなまえと説明 ……3
2 安全に使用するための注意事項 ……4～10
3 仕様 ……11
4 ベッドの使用方法 ……12
5 動作の説明 ……13
6 手元スイッチの使いかた ……14～15
7 開梱と部品の確認 ……16
8 設置について ……17
9 ベッドの組立方法
1.脚座の取付け ……18
2.キャスター(別売)の取付け ……19
3.駆動部の取付け ……20～22
4.背湾曲ボトムの取付け ……23
5.足ボトムセットの取付け ……24～25
6.背ボトムの取付け ……26
7.マットレス止めの取付け ……27
8.手元スイッチホルダーの取付け ……27
9.オプション受の取付け ……28～29
10.サイドパネルの取付け（KQ-913・923のみ） ……29～30
11.ヘッドボード・フットボードの取付け ……31
10 組立て後の点検 ……32～33
11 マットレスの使用方法とご注意 ……34
12 オプションの取付けとご注意
1.介助バー・ベッドサイドレールについて ……35
2.オプションの取付け位置について ……36～37
3.アジャストテーブル・キャスターについて ……38
13 介護リフト使用時のご注意 ……39
14 手動による背さげ操作（停電・故障時などの対応）
1.背さげのしかた ……40
2.もどしかた ……41

ページ
⑮日常のお手入れ ……………………………………………………42
⑯故障かな？と思ったら …………………………………………43
⑰長期保管と移動（移設）について ……………………………44
⑱ベッドの分解方法
1.オプション・寝具の取外し………………………………………45
2.手元スイッチの操作 ……………………………………………45
3.ヘッドボード・フットボードの取外し …………………………46
4.マットレス止めの取外し …………………………………………46
5.サイドパネルの取外し(KQ-913・923のみ)……………………47
6.オプション受の取外し ……………………………………………47
7.手元スイッチホルダーの取外し …………………………………48
8.背ボトムの取外し …………………………………………………48
9.足ボトムセットの取外し …………………………………………49
10.背湾曲ボトムの取外し ……………………………………………49
11.駆動部の取外し ……………………………………………………50～51
12.付属部品と分解したユニットの保管 ……………………………52
⑲アフターサービスについて ………………………………………53～54

使用目的・特長

■アウラ21はご家庭での介護を行なうことを目的として作られたベッドです。
ご使用上、次のような特長があります。

1.伸びてやさしく曲がるキューマラインを採用。
●背をあげた時の腹部の圧迫感を軽減、背をあげた時の快適さが増しました。

2.手元スイッチ操作でベッドポジションを自在にコントロール。
●ボタン操作で適切な体位がとれます。介護する方の負担を軽減します。
●背あげの速度を２段階に調節できます。

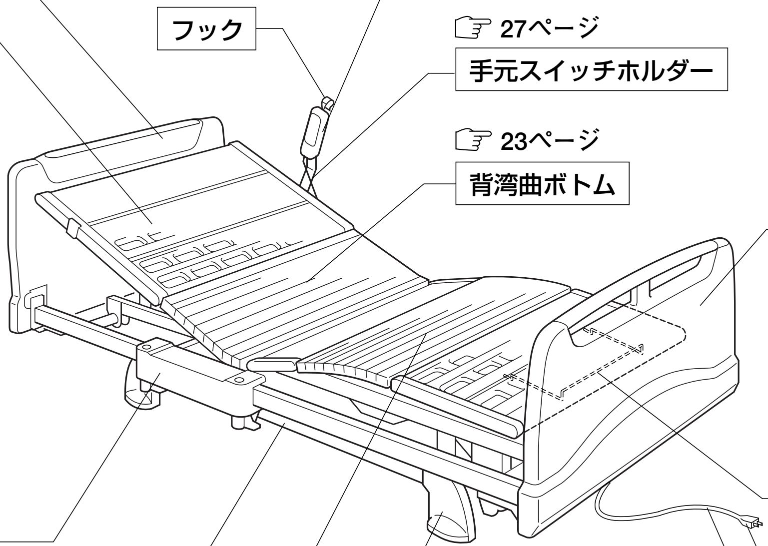
3.便利に使える膝あげ機能。
●ご利用になる方の身長に合わせて、膝の曲がる位置が２段階に調節できます。
●膝あげの際、膝から先の曲がり角度を上下２段階に調節できます。

4.オプションの取付け位置調節機能。
●付属のオプション受により､ベッドサイドレールや介助バーが使いやすい位置でご利用になれます。

1 主要部分のなまえと説明

●図はKQ-903・933を示しています。

☞ このマークの数字は、説明のあるページを示しています。



☞ 31ページ
ヘッドボード
●ストッパーを外してまっすぐ上に持ちあげると、外せます。洗顔・洗髪のときなどに便利です。

☞ 26ページ
背ボトム

頭 側

フック

☞ 14ページ
手元スイッチ
●ベッドの高さ、ボトムの角度をリモートコントロールできます。上部についているフックまたは、手元スイッチホルダーで使いやすい場所に掛けてください。

☞ 27ページ
手元スイッチホルダー

足 側

☞ 23ページ
背湾曲ボトム

☞ 31ページ
フットボード
●ストッパーを外してまっすぐ上に持ちあげると、外せます。足の処置のときなどに便利です。

☞ 29ページ
サイドパネル
●KQ-913,923のみ

☞ 27ページ
マットレス止め

☞ 28ページ
オプション受
●ベッドサイドレール、介助バーなどを取付けられます。

電源プラグ

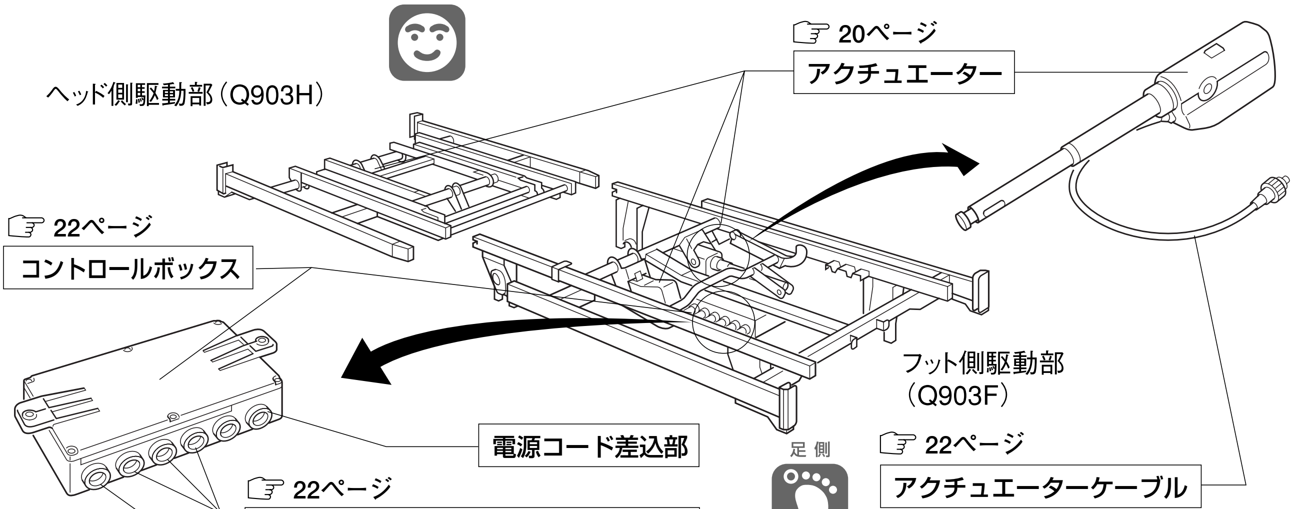
電源コード

☞ 18ページ
脚　座

☞ 20ページ
ベースフレーム

☞ 24ページ
足ボトムセット

頭 側



ヘッド側駆動部（Q903H）

☞ 20ページ
アクチュエーター

フット側駆動部（Q903F）

☞ 22ページ
コントロールボックス

電源コード差込部

足 側

☞ 22ページ
アクチュエーターケーブル
●アクチュエーターケーブルのバンドとコントロールボックスの差込部は、それぞれ同じ色になっています。

☞ 22ページ
アクチュエーターケーブルのコネクタ差込部

☞ 22ページ
手元スイッチ差込部

2 安全に使用するための注意事項

■必ずご使用の前にこの「安全に使用するための注意事項」をよくお読みいただき、正しくお使いください。

■ここに示した注意事項は

製品を安全にお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさと切迫の程度に応じて「警告」と「注意」の二つに区分しています。**いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。**

絵表示についての詳しい説明は下記のとおりです。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 警告（けいこく）	●この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、生命にかかわるけがを負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意（ちゅうい）	●この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人がけがを負う可能性及び物的損害の発生が想定される内容を示しています。

〔絵表示の例〕

感電注意

分解不可

プラグを抜く

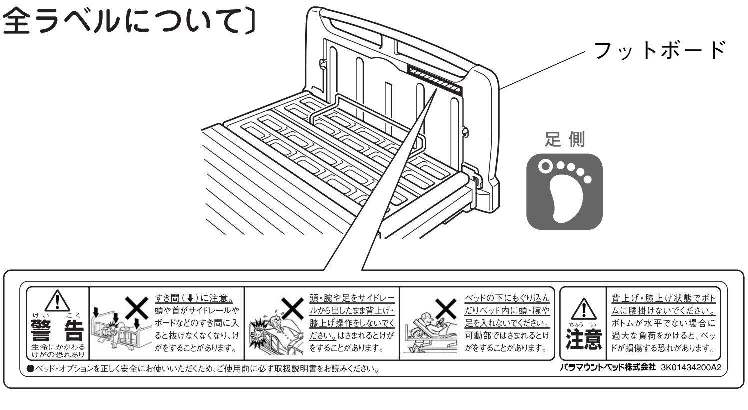
△ 記号は、警告・注意を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は「感電注意」）が描かれています。

⃠ 記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や回りに具体的な禁止内容（左図の場合は「分解禁止」）が描かれています。

● 記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は使用者の行為の強制「電源プラグを抜く」）が描かれています。

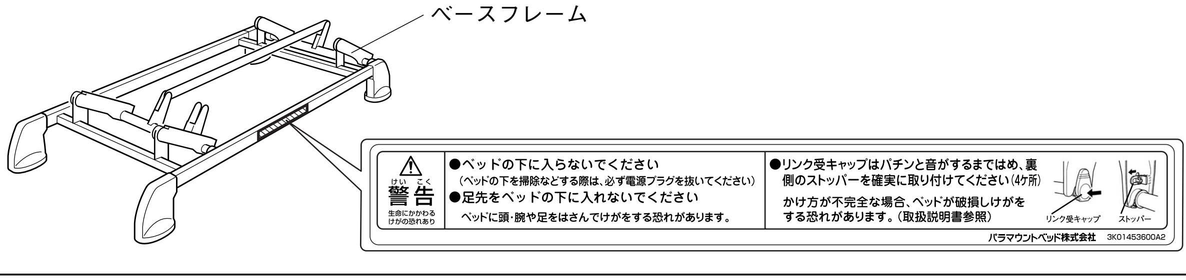
※取扱説明書をお読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

〔安全ラベルについて〕



●注意事項の中で、ベッドをお使いになる方に特に注意していただきたい項目をラベルにしてフットボードの内側とベースフレームの側面に貼ってあります。はがしたり傷つけたりしないでください。

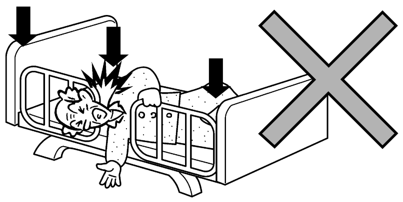
●安全ラベルが傷ついたり、はがれてしまった場合には販売店から新しい安全ラベルを取寄せ、貼り直してください。



2 安全に使用するための注意事項

⚠ 警告

■サイドレールやボードのすき間（⬇）に頭や首が入らないよう注意してください



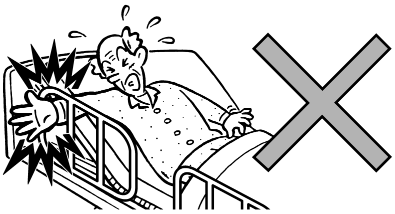
●頭や首がすき間に入ると抜けなくなり、けがをするおそれがあります。

●特に体位を自分で保持できない方には十分注意してください。

■サイドレール使用時もベッドからの転落に十分注意してください

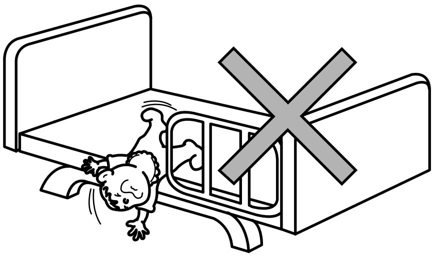
●サイドレールとサイドレール、各ボードとサイドレールのすき間から落下したり、サイドレールの上から身をのり出して落下し、けがをするおそれがあります。

■ベッドの外に頭、手や足などを出さないでください



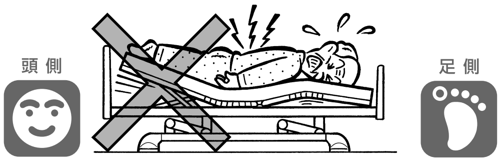
●ベッドの操作時に、操作した部分にはさまれてけがや事故の原因となります。

■乳幼児には使用しないでください



●サイドレール等のすき間から落下するおそれがあります。

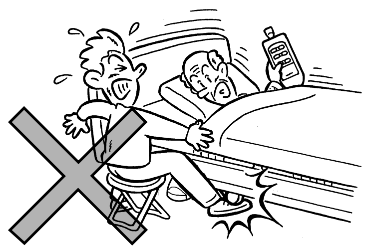
■うつ伏せで寝た状態での角度調節は行わないでください



●関節を逆に曲げることになり、けがをするおそれがあります。

⚠ 警告

■ベースフレームに足をかけないでください



●ベースフレームに足をかけたり、足先を入れたりしないでください。はさまれてけがをするおそれがあります。

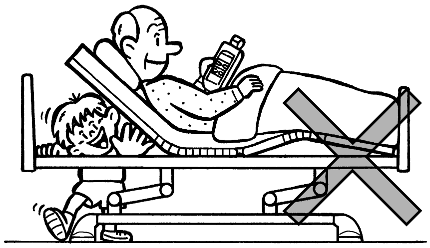
■12歳以下のお子様や操作が理解できないと思われる方に操作させないでください

●12歳以下のお子様や操作が理解できないと思われる方（痴呆症の方など）が1人で手元スイッチに触れる可能性がある場合には、電源プラグを抜くなどして誤操作による事故を未然に防いでください。

■ベッドは正しい向きで使用してください

●ベッドの頭側、足側を間違えて寝るとポジション操作の際、無理な姿勢となり、けがをするおそれがあります。

■ベッドの下に潜り込んだり、頭、手や足を入れないでください



●ベッドの可動部分とフレームやサイドレールとの間にはさまれてけがや事故の原因となります。ベッド操作はベッドの周りに障害物がないことを確認して行ってください。

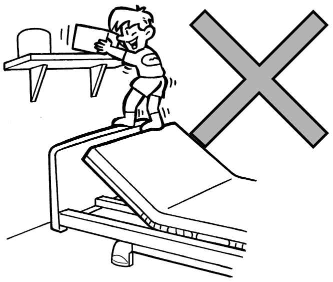
■電動操作中はベッドのフレームとボトムの間などに手（指）や足を入れないでください

●下がってきたボトムとベッドのフレームやボードなどの間にはさまれて、けがをするおそれがあります。

2 安全に使用するための注意事項

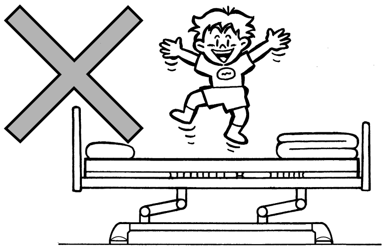
⚠ 警　告

■踏み台がわりにしないでください



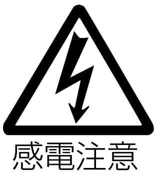
●ベッドから落下､転倒してけがをするおそれがあります。

■ベッドの上で飛び跳ねないでください



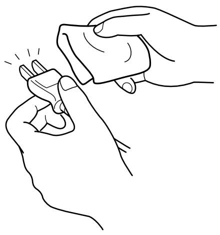
●けがや故障の原因となります。特にお子様にはご注意ください。

■電源プラグを濡れた手で抜き差ししないでください



●ショートして感電・故障のおそれがあります。

■電源プラグにホコリを付着させないでください



●電源プラグの表面にホコリが付着している場合、乾いた布などでよく拭き取ってください。

●電源プラグの表面にホコリが付着していると、水分を含んで電流が流れ、絶縁状態が悪くなり、発火するおそれがあります。

■お客様による修理・改造はしないでください

●異常動作して、けがをするおそれがあります。

■電源コード類をはさまないでください

●コードが傷むことで漏電し、感電するおそれがあります。

●傷んだコードは修理を依頼してください。

⚠ 警告

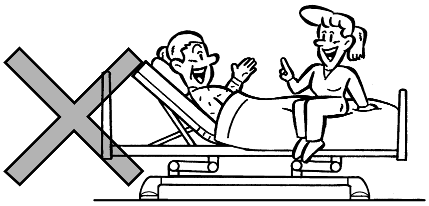
■電子治療器を使用するときは必ず電源プラグを抜いてください

●電子治療器（マイクロ波治療器、超短波治療器等）を同時に使用した場合、ベッドの故障や誤動作の原因となります。

●なお、他の医用電気機器と併用する際は、安全をご確認の上ご使用ください。

⚠ 注意

■2人以上で使用しないでください



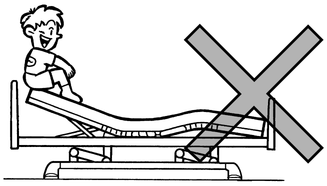
●このベッドは1人用の設計になっています。2人以上で使用しないでください。一時的に、介助者がベッドにのる必要がある場合は、つぎの点を確かめてください。

○ベッドにかかる荷重が最大使用者体重（100kg）をこえていないこと

○ボトムがさがって平らになっていること

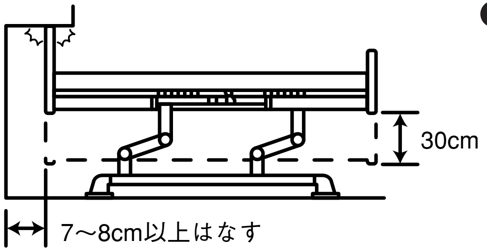
●介助者がベッドにのる機会の多い場合は、必ずベッドの定期点検を受けてください。

■あがっているボトムに乗らないでください



●ボトムの支持部に大きな力がかかり、変形、破損の原因となります。

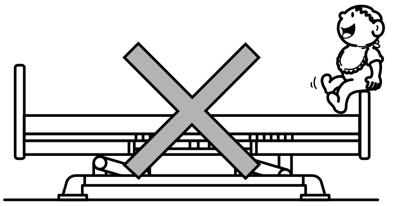
■高さ調節のとき、壁や梁に気をつけてください



●ベッドは高さ調節操作で、上下に約30cm、前後に約6cm動きます。ご使用の際には、この高さ調節でベッドが壁や梁にあたらないことをご確認ください。特に壁からは必ず7〜8cm以上はなして設置してください。

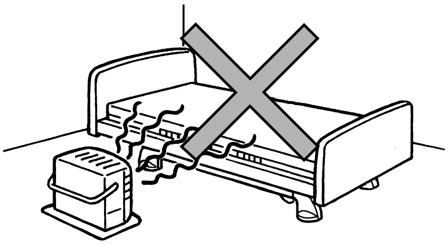
⚠ 注 意

■サイドレールやヘッドボード・フットボードに腰掛けたりしないでください



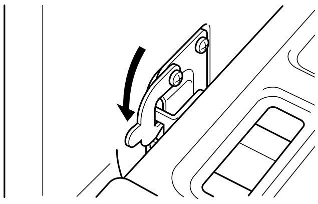
●ベッドから落下・転倒してけがをしたり、ベッドが破損・変形してけがをするおそれがあります。

■火気に近づけないでください



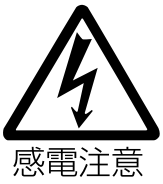
●ベッドの近くでの、ストーブなど熱器具の使用は避けてください。変質、変形、発火等の原因となります。

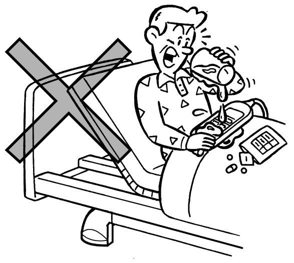
■ヘッド・フットボードは必ずストッパーをかけてください



●ボードの取付けが不完全な場合、ベッド移動でボードを押す(引く)ときや体を支えるためボードにつかまったときなどに、不意に外れ、ボードの落下や転倒などによるけがのおそれがあります。

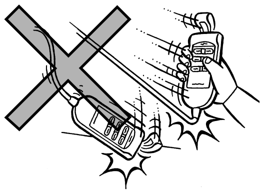
■水などをこぼさないでください

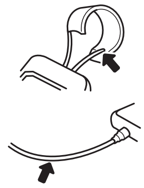




●アクチュエーターや手元スイッチなどの電装品に、水がかかると、ショートによる感電や誤動作のおそれがあります。

■手元スイッチを傷つけないでください





●ショートによる誤動作のおそれがあります。
●傷んだ手元スイッチは修理を依頼してください。

⚠注意

■スプレータイプの殺虫剤をベッドに直接噴射しないでください

●殺虫剤に含まれる溶剤によってベッドが破損・変色・溶解するおそれがあります。また、破損・溶解した部分で思わぬけがをするおそれがあります。

■被災したベッドは販売店に点検・修理をご依頼ください

●地震・火事・水害等で被災したベッドは、電装品のショートや漏電による感電・火災やベッドの変形による動作の異常によってけがをするおそれがあります。

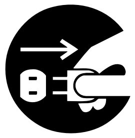
■治療中の方は医師に相談をしてください

●現在治療中の方は、ベッドの操作が症状を悪化させる可能性があります。ベッドのご使用に際して不安や疑問があるときは、かかりつけの医師にご相談ください。

■指定以外の製品とは組合わせないでください

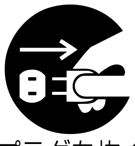
●指定以外の製品と組合わせるとベッドに負担をかけ、けがや故障の原因となることがあります。

■電源プラグを持って抜いてください


プラグを抜く

●コンセントから抜く際、電源コードのみを持って引き抜くとコードが傷んで感電するおそれがあります。

■お手入れは電源プラグを抜いて行ってください


プラグを抜く

●誤作動によるけがや事故、ショートによる感電のおそれがあります。

■ベッド操作時は周囲を確認してください

●ポジション操作によって周囲の物を破損させたり、ベッドを破損・変形させる原因となります。

	型番		標準タイプ		木調タイプ	
			KQ-903	KQ-933	KQ-913	KQ-923
ベッド本体	全長（cm）		209.5		201.9	
	適合するマットレス幅（cm）		83	91	83	91
	全幅（cm）		96	99.8	97.5	104.5
	床高（cm）		30～60			
	製品質量（kg）		約82.5	約84.0	約89.5	約91.5
	材質	ボード	PP		回縁：天然木／鏡板：化粧板貼り	
		ボトム	スチール製……電着・粉体塗装仕上げ（一部樹脂成形品）			
		ヘッド側駆動部				
		フット側駆動部				
		ベースフレーム				
		オプション受	強化ナイロン＋スチール			
		サイドパネル	ー		PP＋樹脂シート	
	電源コード長さ		有効長さ約2m			
	最大使用者体重		100kg			
	安全使用荷重		1176N（120kgf）			
	動作保証条件	温度	10℃～40℃			
		湿度	30～75%RH			

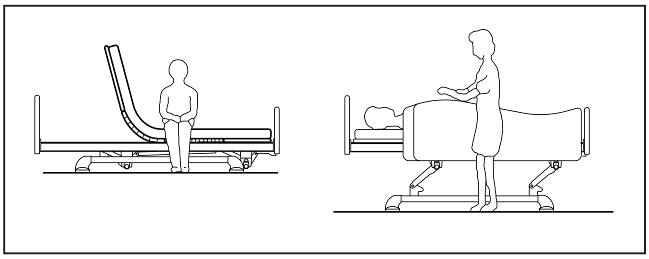
背あげ	傾斜角度		0～約80°（無段階）
	背あげ用アクチュエーター	電源	AC100V、50/60Hz
		消費電力	130W
		昇降時間	約31秒（ふつう）/　約20秒（はやい）
		連続使用時間	約5分
		モーター形式	DCモーター

膝あげ	傾斜角度		0～約30°（無段階）
	膝あげ用アクチュエーター	電源	AC100V、50/60Hz
		消費電力	130W
		昇降時間	約12秒
		連続使用時間	約5分
		モーター形式	DCモーター

高さ調節	昇降距離		約30～60cm（ゆかからボトム面までの高さ）
	ハイロー用アクチュエーター	電源	AC100V、50/60Hz
		消費電力	200W
		昇降時間	約28秒
		連続使用時間	約5分
		モーター形式	DCモーター

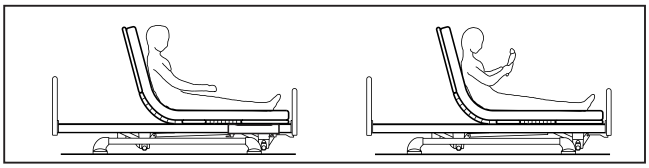
■動きを理解していただくために、ベッドサイドレールなどを取外した状態で描いてあります。

高さ調節



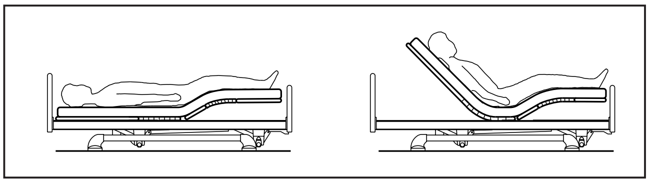
●座ってかかとが着く位の高さに調節すると、ベッドから立ちあがりやすくなります。
●車椅子の座面の高さにベッドの高さを合わせると、移乗が楽に行えます。
●適度な高さまでベッドをあげると、中腰にならず楽な姿勢で介護できます。

背あげ



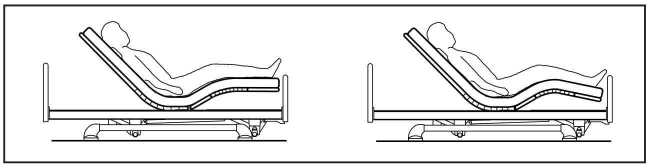
●ベッドからの起きあがりに役立ちます。
●ベッド上での食事、読書などに便利です。

膝あげ



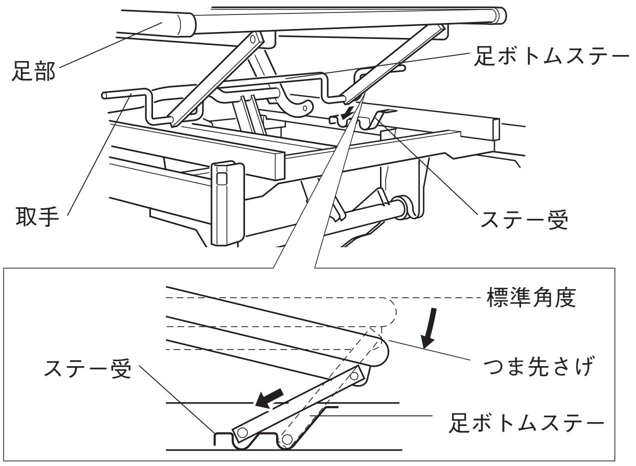
●背あげを行なう場合、先に膝をあげておくと体のずれを少なくできます。
●背と膝の角度を適度にあげると、体に負担のかからない楽な姿勢がとれます。

■手動による足部角度の調節



●膝あげ後の足部角度を調節し、つま先位置を低くできます。

■調節のしかた



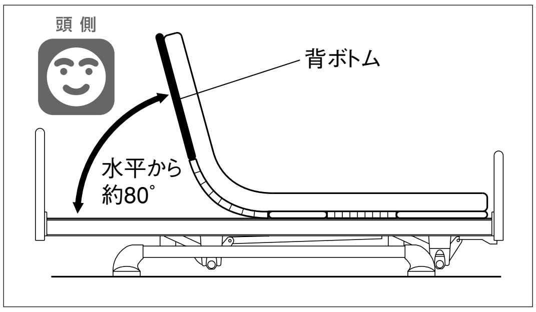
❶手元スイッチで膝部を中間の角度ぐらいまであげてください。
❷足部を持ちあげ、取手を持って足ボトムステーを奥へ傾け、図のステー受の位置に掛けてください。

注記！ ●**膝部角度をさげると、足ボトムステーは自動で標準角度位置に戻ります。**

⚠注意（ちゅうい）	●足ボトムステーは、ステー受以外の位置には移動しないでください。破損のおそれがあります。 ●足部角度の調節は、手や腕をはさまないよう注意して行ってください。

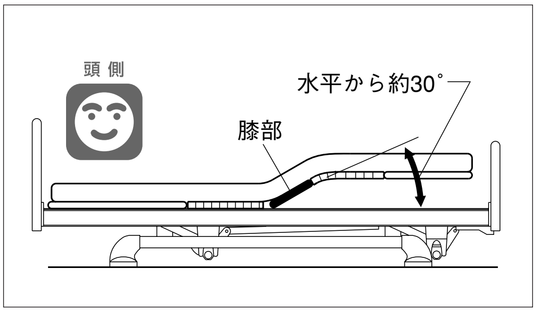
■ベッドの背ボトム、足ボトムセットの角度やベッド全体の高さを、電動で無段階に調節できます。手元スイッチのボタンを押すと動き、はなすとその位置で止まります。必要な位置まで動かして、ベッドをお使いください。

背　あ　げ

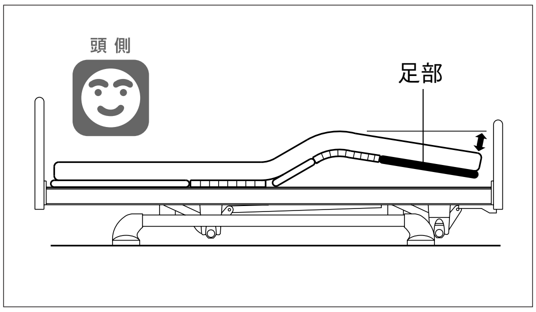


●背ボトムの角度を調節できます。
ベッドの背もたれ部分が、水平から約80°まで調節できます。

膝　あ　げ

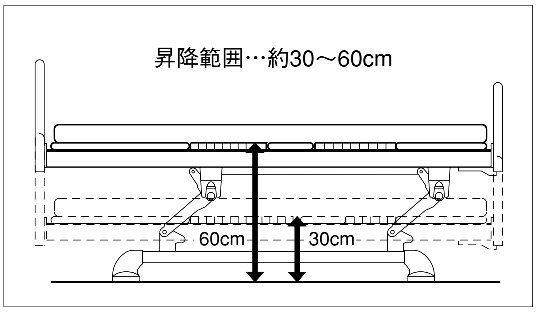


●足ボトムセットの膝部角度を調節できます。
足ボトムセットの膝部が、水平から約30°まで電動操作で調節できます。



●手動で足部角度を2段階に調節できます。

高 さ 調 節

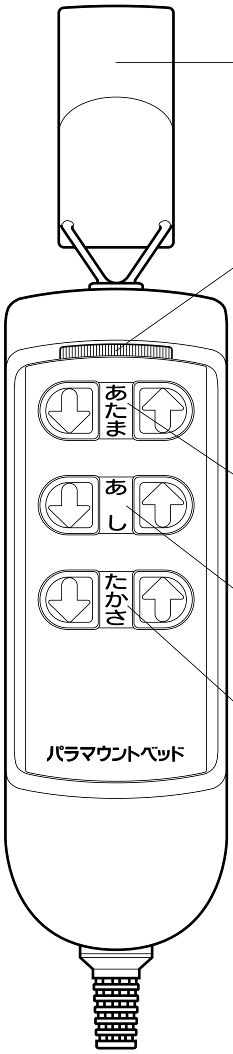


●ベッドの高さを調節できます。
ゆかからボトム面までの高さを、約30cmから約60cmまで調節できます。

6 手元スイッチの使いかた

■手元スイッチ操作によって、ベッドの背ボトムの角度、足ボトムの角度、ベッド全体の高さを無段階に調節できます。

⚠ 警告	●12才以下のお子様や操作が理解できないと思われる方（痴呆症の方など）が手元スイッチに触れる可能性がある場合には、こまめに電源プラグを抜いて、誤操作による事故を未然に防いでください。



フック

通電表示ランプ
●通電時は点灯しています。

【操作方法】
ボタンを押すと動き、はなすとその位置で止まります。

あたま：背のあげさげボタン
●背ボトムの角度調節ができます。

あ　し：膝のあげさげボタン
●足ボトムセット膝部の角度調節ができます。

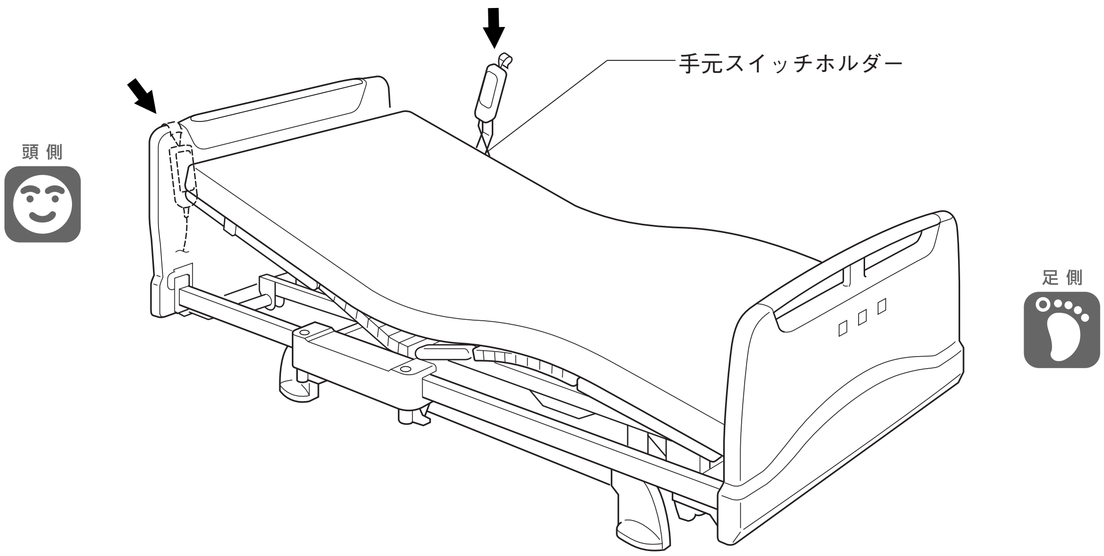
たかさ：ベッドのあげさげボタン
●ベッドの高さ調節ができます。

⚠ 注意	●手元スイッチが傷んでいると誤動作するおそれがあります。 ●傷んだ手元スイッチは修理を依頼してください。

注記！
●通電表示ランプが点滅しているときは、何らかの異常があるときです。43ページを参考に点検を行ってください。
●2つ以上のボタンを同時に押しても、安全のため誤操作とみなし動きません。

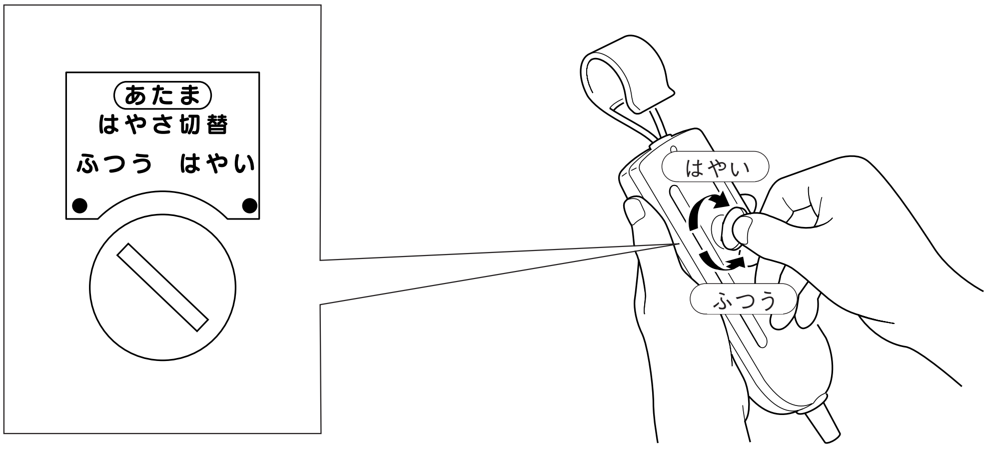
■手元スイッチを掛ける場所

●手元スイッチを使用しないときは放置せず、図の位置を参考に掛けてください。
手元スイッチホルダーの使いかたについては、27ページを参照してください。



■はやさ切換スイッチについて

●手元スイッチ裏面にある「はやさ切替スイッチ」の切替えで、背ボトムのあげさげする速さを2段階（ふつう・はやい）選ぶことができます。
切替えは、硬貨を差し込みスイッチを回して行なってください。
「はやい」は「ふつう」の約1.6倍の速さで動作します。

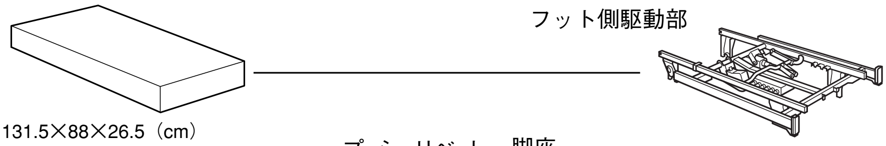


●開梱した時点で、下記の部品などがすべて揃っていること、破損していないことを確認してください。万一、部品の不足や破損があった場合には、販売店または弊社コールセンターまでご連絡ください。

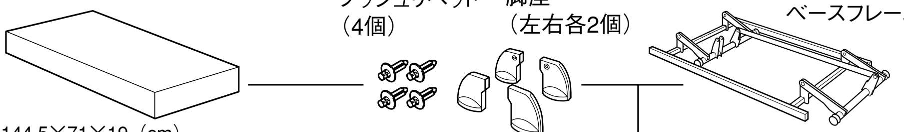
⚠ 注意	●組立てのときにはユニット同士やユニットの可動部で手をはさまないように注意してください。

❶ヘッド側駆動部
Q903H
約17.5kg
（21.0kg）

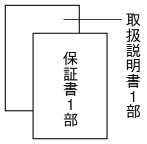
❷フット側駆動部
Q903F
約20.0kg
（25.0kg）



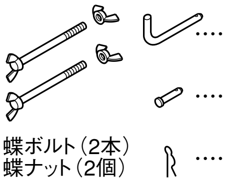
❸ベースフレーム
Q903VA
約15.5kg（19.5kg）
ベースフレーム 約14.0kg ＋ 脚座・付属部品 約1.5kg



■付属品

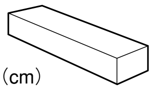


■組立付属部品（金色）
（連結ピン小のみ黒）



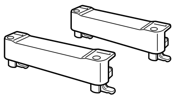
❹オプション受セット

Q903PS	Q913PS
約3.5kg	約4.5kg
（4.5kg）	（5.5kg）
Q923PS	Q933PS
約5.5kg	約4.0kg
（6.5kg）	（5.0kg）

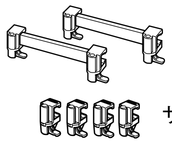


■オプション受・サイドパネル受

Q903PS
Q933PS

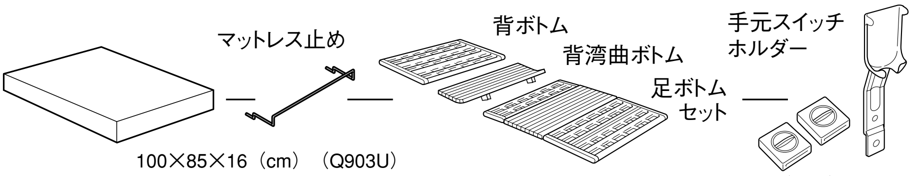


Q913PS
Q923PS



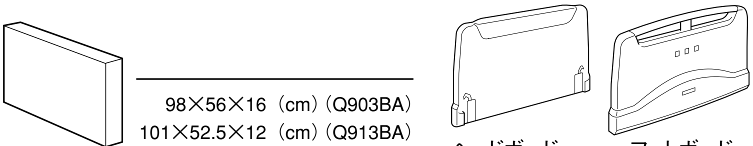
❺ボトムセット

Q903U	Q933U
約19.5kg	約20.5kg
（22.0kg）	（23.0kg）

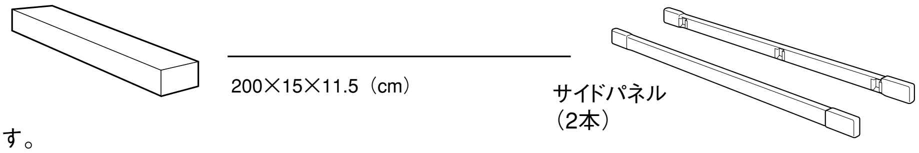


❻ボードセット

Q903BA	Q913BA	Q923BA
約6.5kg	約9.5kg	約11.5kg
（8.0kg）	（10.5kg）	（13.5kg）



❼サイドパネルセット
Q913S
約3.0kg
（4.0kg）

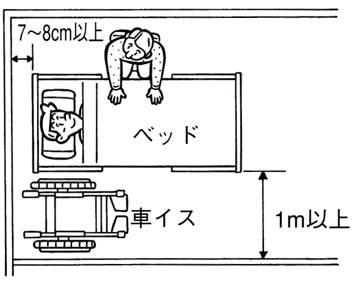


（　）内の数字は梱包を含む質量です。

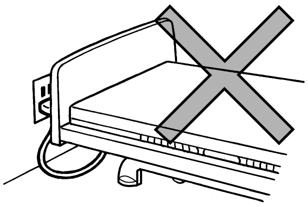
8 設置について

■ベッドを設置するにあたって下記の条件を考慮してください。

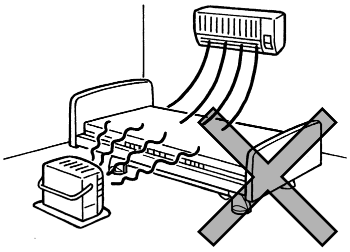
❶



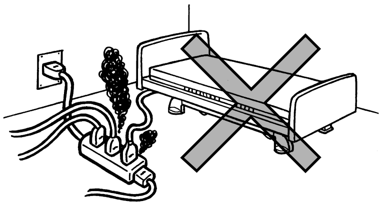
❹



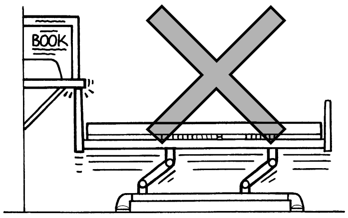
❺



❻



❼



注記!

●一旦組み立ててしまいますと部屋の中での移動、向きの変更が困難な場合があります。

❶ベッドの周辺のスペースを確保してください。ベッドで療養する方が、ベッドから起きあがる場合にベッドの左右どちら側からの乗り降りが可能か、車イスをご使用の場合はベッドのどちら側で使用するかによってそのスペースを確保してください。介護する方がベッド周りで介護をするためのスペースをどれだけとるか（例えばシーツ交換だけか、おむつ交換、着替え、洗髪、歯磨き、食事の介助等が必要かどうかによってベッドの周囲をどれだけあけるか）を考慮してください。

注記!

●ベッドの高さ操作時､ベッドは頭側と足側に動きます。ベッドの頭側と足側には各々7〜8cm以上のスペースを確保して下さい。

❷水平なゆかに設置してください。

❸ベッドの質量は約85kgです。寝具およびオプション（付属品）にベッドで療養する方の体重を加えた総質量が、使用時にゆかにかかる荷重となります。この荷重に十分耐えられるゆかの強度を確保してください。

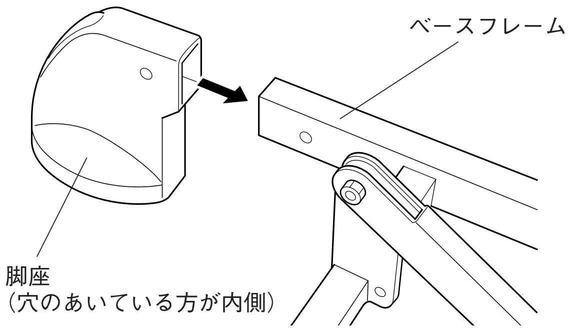
❹電源プラグの抜き差しができなくなる所にはベッドを設置しないでください。誤操作を防止するために、電源プラグを抜くことが必要になる場合があります。

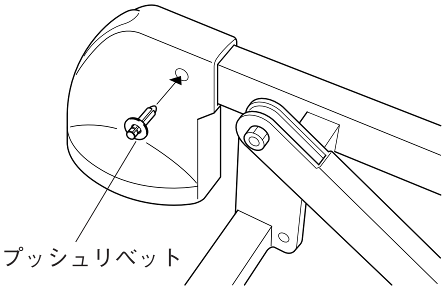
❺冷暖房器による冷気や暖気が、ベッドに直接当たらないようにベッドを設置してください。

❻ベッドの電源は直接コンセントからとってください。コンセントや延長コードの容量を越える電気製品を同時に接続使用すると、電源コードや電源プラグが発熱する恐れがあります。

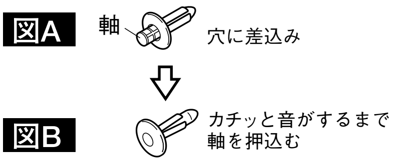
❼ベッドは電動操作で動きます。特に高さ方向については、ベッドの高さ寸法が増すことによってベッド周りの家具備品、部屋の構造物の一部などに当たらないように配慮してください。

1.脚座の取付け





プッシュリベットを取付けるときは



❶組立ての前に17ページ「設置について」に従いベッドの配置をお決めください。ベッドの大きさは幅約1m、長さ約2.1mです。

❷ベースフレームを持ち、先端に脚座を差込んでください。(4カ所)

注記!

●脚座には左右があります。穴のあいている方を内側にしてください。

❸プッシュリベットが**図A**のような状態であることを確認してください。(なっていない場合は軸をさらに押込んで、**図A**のような状態にしてください。)

❹ベースフレームと脚座の穴位置を合わせ、プッシュリベットを挿入してください。

❺挿入後、プッシュリベットの軸を押込んで**図B**のような状態にして、脚座をベースフレーム長手に固定してください。(4カ所)

⚠ 警告(けいこく)

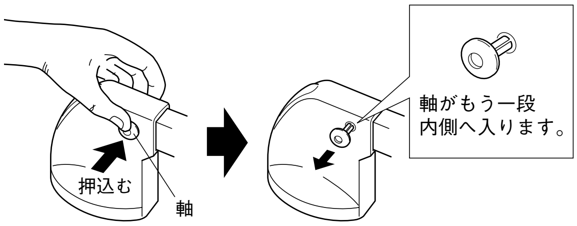
●プッシュリベットは4個の脚座全てに確実に固定してください。固定されていない場合、脚座がはずれてけがや事故の原因となります。またベッドの変形、破損の原因になります。

プッシュリベットを外すときは

●カチッと音がするまで指で軸をさらに押込んでください。
固定が解除されますので、そのまま抜いてください。

※指で押込めない場合は、押込みすぎないように注意してドライバー等で軽く押込んでください。

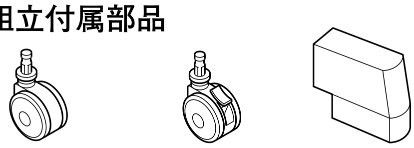
※再度取付ける際は、**図A**のような状態にしてください。

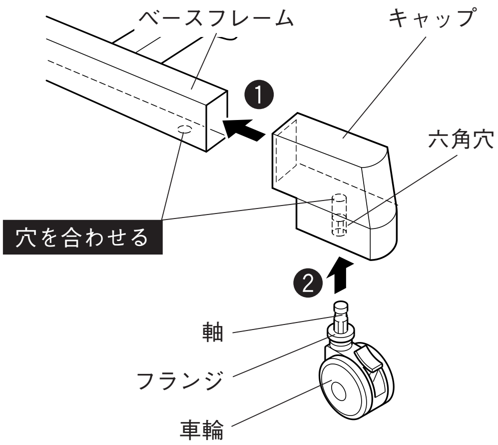


2.キャスター（別売）の取付け

■キャスター（KQ-029）の取付け

■組立付属部品



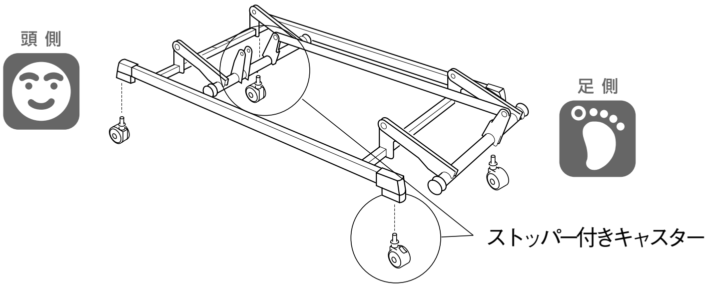


❶ベースフレームの先端に、キャップを奥まで差込み、キャップとベースフレームの穴位置を確実に合わせてください。

❷キャスターの軸をキャップの六角穴に合わせ、カチッと音がするまで差込んでください。

注記！

- **このとき、フランジとキャップが接していることを確認してください。**
- **ストッパー付のキャスターは下図のように対角の位置に取付けてください。**
- **キャスターを差込む際に、指をはさまないよう注意してください。**

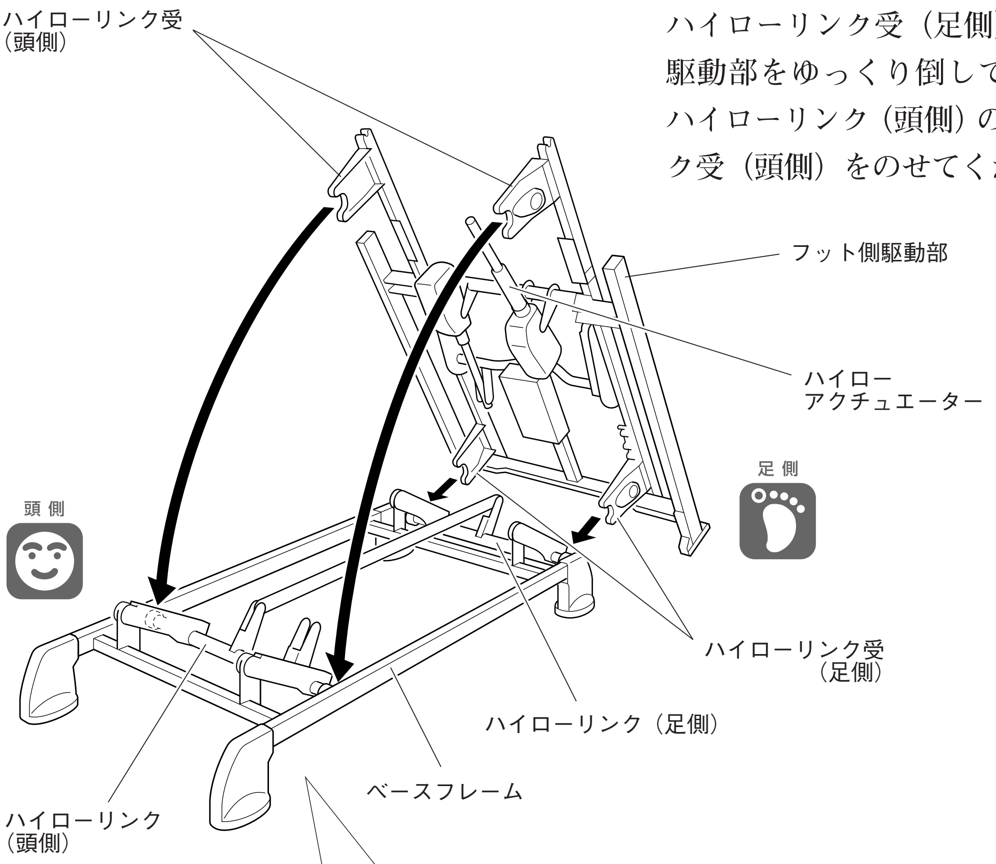


⚠ 警(けい) 告(こく)	●ベッドを移動させるとき以外は、対角2カ所のキャスターを固定状態にしてください。ベッドに乗り降りする際に、ベッドが動いて思わぬけがをするおそれがあります。

3.駆動部の取付け

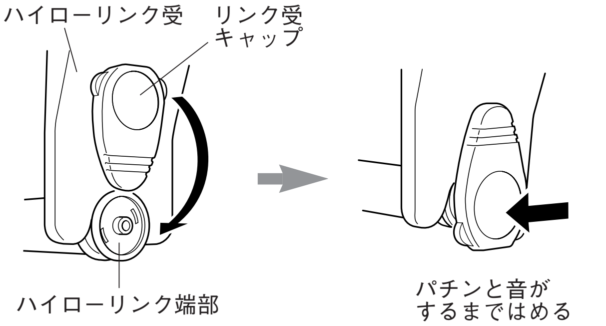
■フット側駆動部（Q903F）の取付け

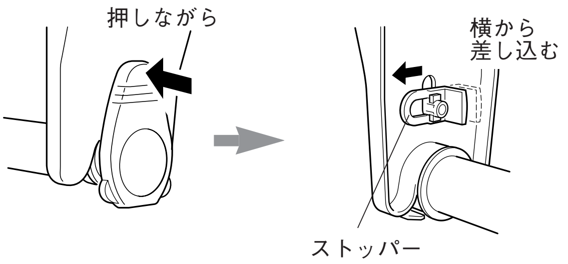
❶図のように、ハイローリンク(足側)の上にハイローリンク受（足側）をのせてフット側駆動部をゆっくり倒してください。次に、ハイローリンク（頭側）の上にハイローリンク受（頭側）をのせてください。



❷リンク受キャップを下方に回して、ハイローリンクの端部（4ヶ所）に、外側からパチンと音がするまで確実にはめ込んでください。

❸リンク受キャップの上部を外から押しながら、ハイローリンク受裏側のストッパーを横から確実に差込み、リンク受キャップを固定してください。

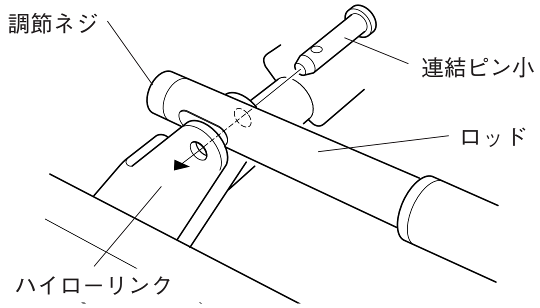




⚠ 警(けい) 告(こく)

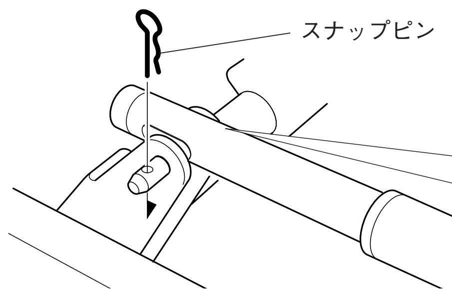
●リンク受キャップは、パチンと音がするまではめ、裏側のストッパーを確実に差込んでください。リンク受キャップをはめ忘れたり、ストッパーのかけ方が不完全な場合、ベッドが破損しけがをする恐れがあります。

3.駆動部の取付け



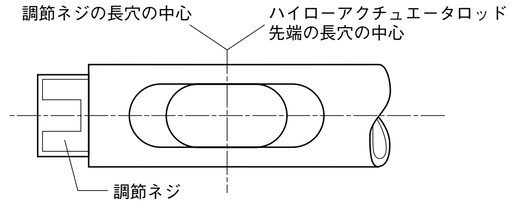
❹ハイローアクチュエーターのロッド先端とベースフレームのハイローリンクを付属の連結ピン小で連結してください。
穴が合わない場合は下記の要領で穴位置の調節を行ってください。

❺連結ピン小の穴にスナップピンを差込んでください。



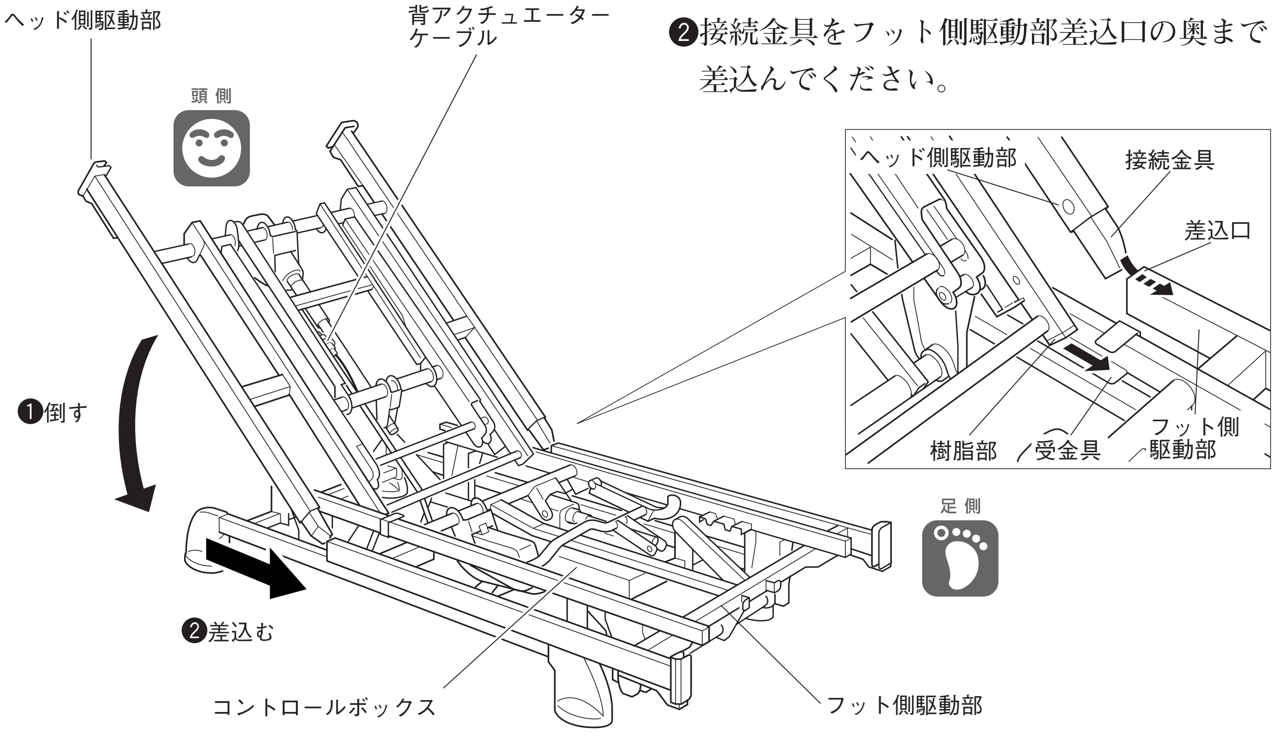
穴位置の調節のしかた

調節ネジの穴は、ロッド先端の長穴の中心が適正な位置です。ずれている場合は調節ネジを回し調節してください。

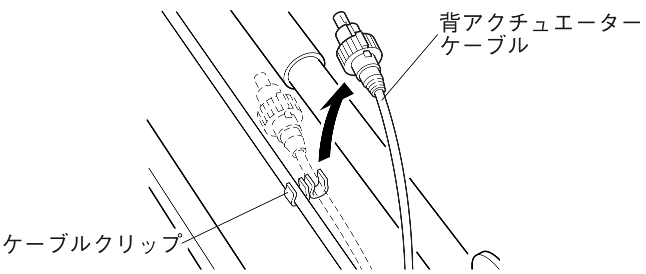


■ヘッド側駆動部（Q903H）の取付け

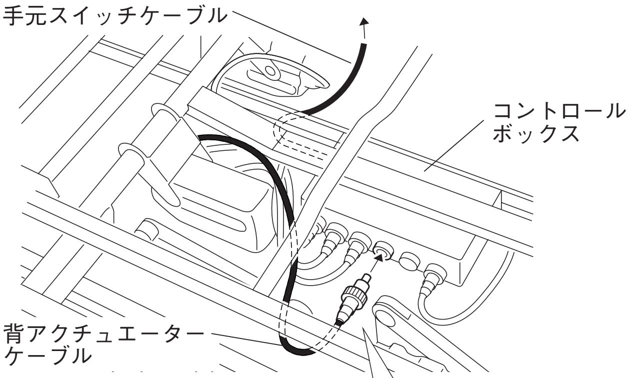
❶図のように、フット側駆動部の受金具にヘッド側駆動部先端の樹脂部をのせ、水平な位置まで倒してください。
❷接続金具をフット側駆動部差込口の奥まで差込んでください。



■アクチュエーターケーブルの取付け



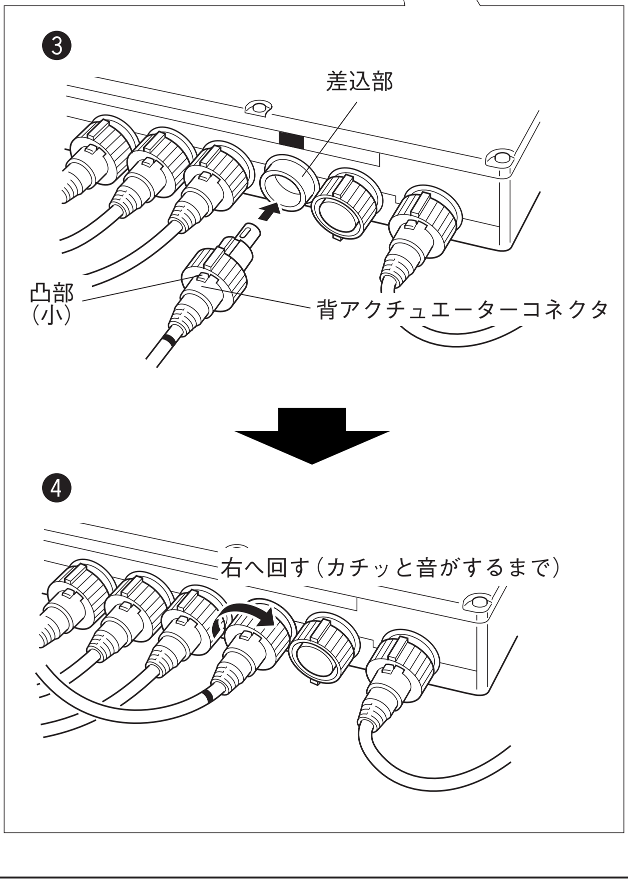
❶背アクチュエーターのケーブルをケーブルクリップより取外してください。



❷左図のように背アクチュエーター、手元スイッチのケーブルを配線してください。

⚠注意（ちゅうい）

●ケーブルをフレームの上側に通さないでください。また、手元スイッチケーブルは中央から引出してください。断線や破損の恐れがあります。



❸背アクチュエーターのコネクタ凸部（小）を上にし、コントロールボックスの差込み部に差し込んでください。

❹コネクタのキャップをキャップの凸部が真上にくるようカチッと音がするまで右に回してください。

4.背湾曲ボトムの取付け

⚠ 注意（ちゅうい）

●取付作業上、手元スイッチにより電動操作が必要な場合以外は、必ずコンセントから電源プラグを抜いてください。
誤操作によりけがをするおそれがあります。

●電源コードは必ずベースフレームの下側を通し、可動部分との接触がないことを確認した上で、コンセントまで配線してください。断線や破損の恐れがあります。

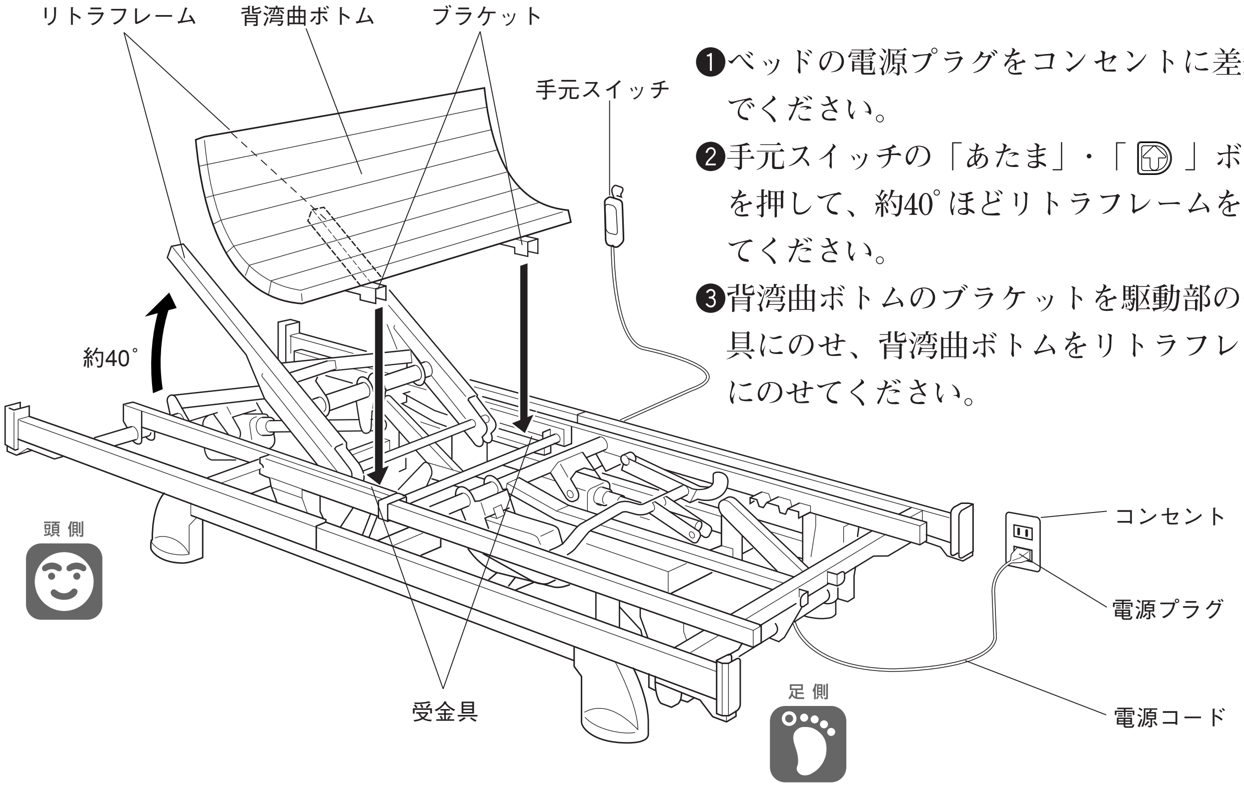
注記！

●作業をしやすくするために、リトラフレームをあげてください。

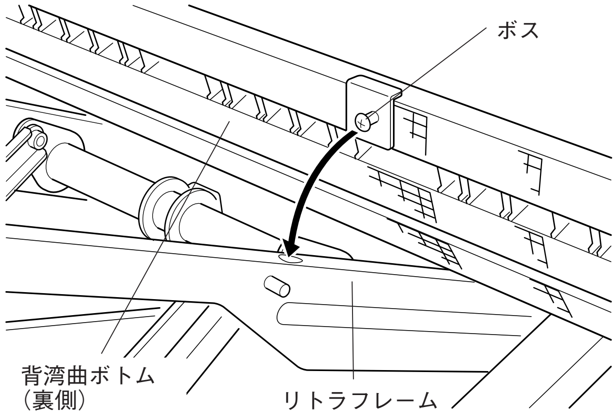
❶ベッドの電源プラグをコンセントに差込んでください。

❷手元スイッチの「あたま」・「　」ボタンを押して、約40°ほどリトラフレームをあげてください。

❸背湾曲ボトムのブラケットを駆動部の受金具にのせ、背湾曲ボトムをリトラフレームにのせてください。



❹背湾曲ボトムのボス（裏側/左右2カ所）をリトラフレームの穴に差込んでください。



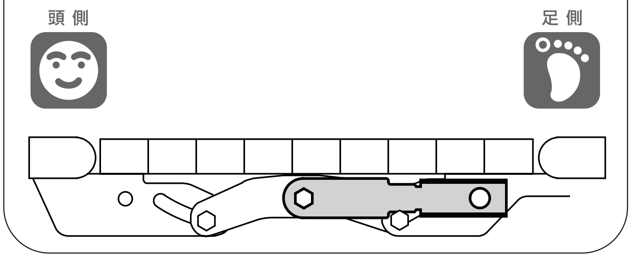
5.足ボトムセットの取付け

■膝屈曲位置の調節

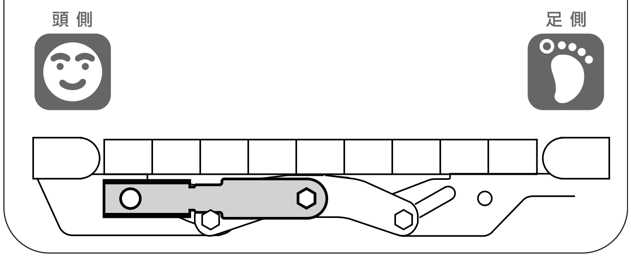
ベッドをお使いになる方の体格に合わせ、膝部の曲がる位置を2段階に調節できます。
必要に応じて、下記の目安に従い、調節を行なってください。

●膝屈曲位置の調節は、足ボトムセットの取付け前に行なってください。取り付け後の調節は行なえません。

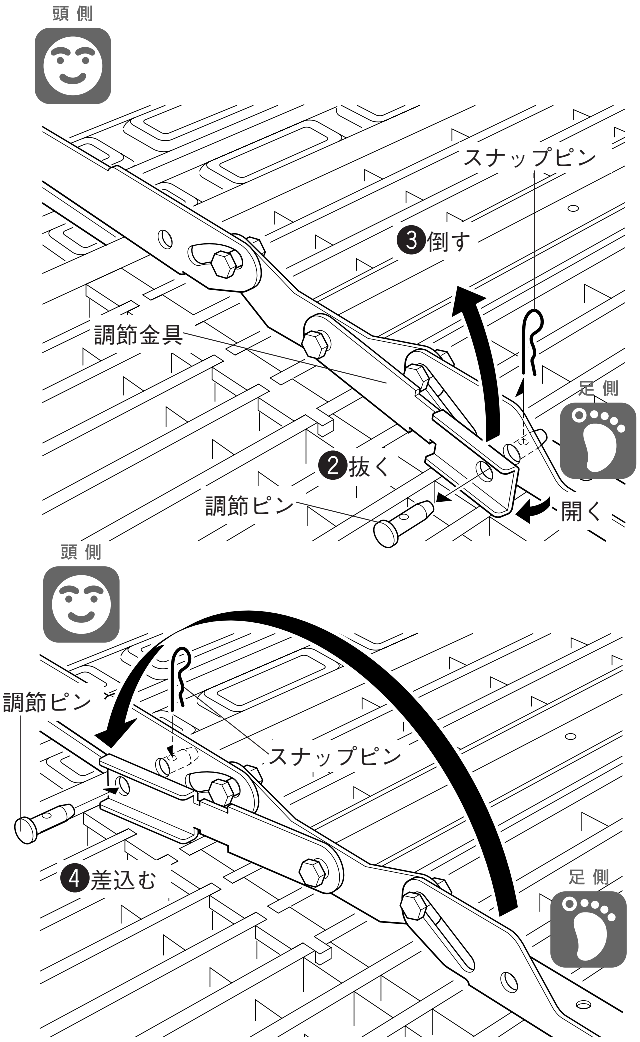
身長約160cm未満の場合（工場出荷時）



身長約160cm以上の場合



※ここに示す身長は目安ですので、使用される方の状態に合わせて調節を行なってください。



調節のしかた

■下記は、身長160cm以上の場合を示しています。160cm未満の方に合わせる場合は、同様の手順で調節金具を足側に倒してください。

❶足ボトムセットを裏返し、ゆかに置いてください。
❷屈曲部の調節ピンとスナップピンを外してください。

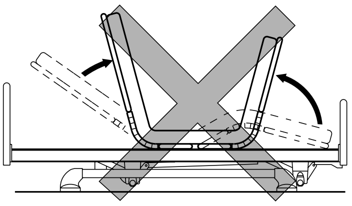
❸調節金具を外側へ開き、反対側へ倒してください。
❹調節ピンとスナップピンで差込み調節金具を固定してください。
❺同様に、反対側の調節も行ってください。

●膝屈曲位置の調節は必ず両側（2ヶ所）とも行ってください。

5.足ボトムセットの取付け

⚠ 注意(ちゅうい)

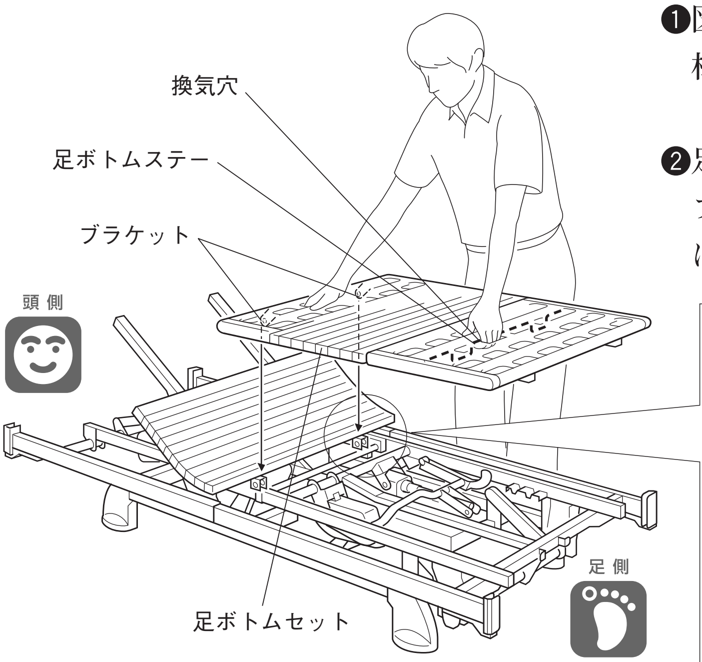
●背ボトム・足ボトムセットを持ちあげて逆に反らせたり、必要以上に曲げたりしないでください。変形・破損のおそれがあります。

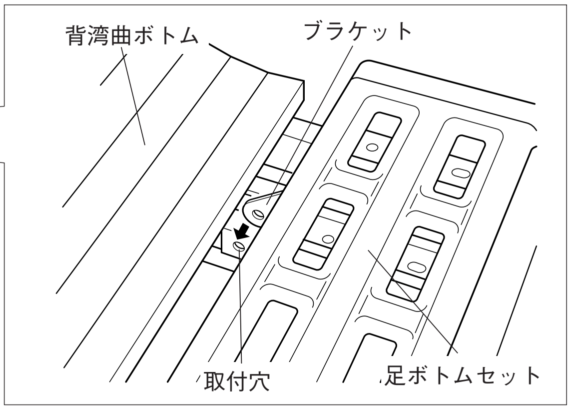


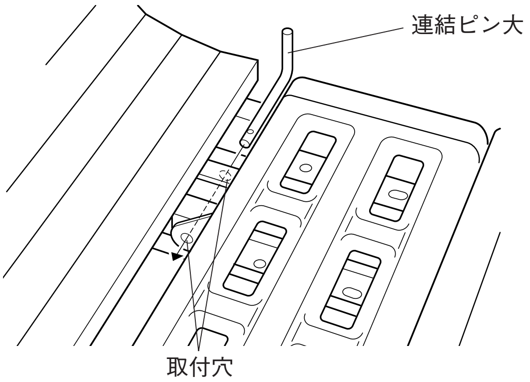
■足ボトムセットの取付け

❶図のように足ボトムステーをけがをしない様に換気穴の上からつかんで、足ボトムセットを持ってください。

❷足ボトムセットのブラケット穴をヘッド・フット側駆動部の取付穴（左右2カ所）の位置に合わせ、足ボトムセットをのせてください。

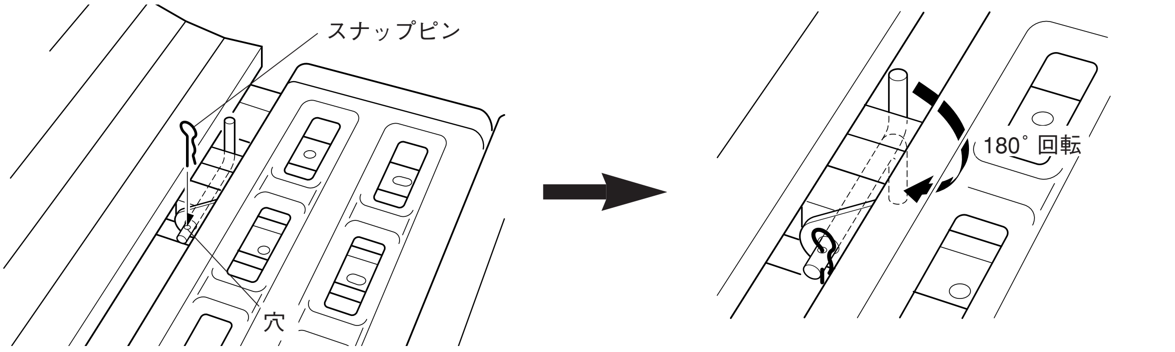




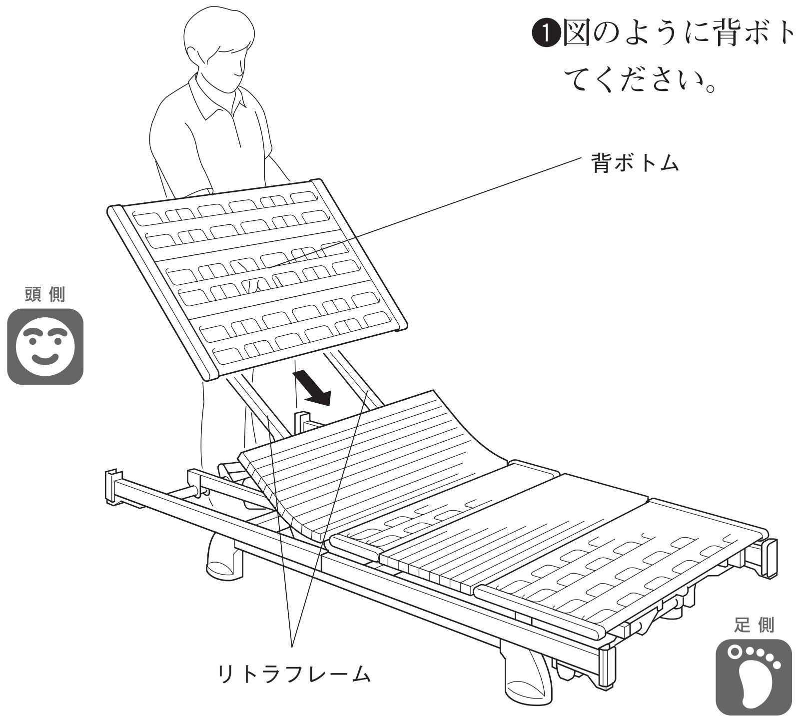


❸取付穴（左右2ヶ所）に連結ピン大を外側から差込み、各ボトムと駆動部を連結してください。

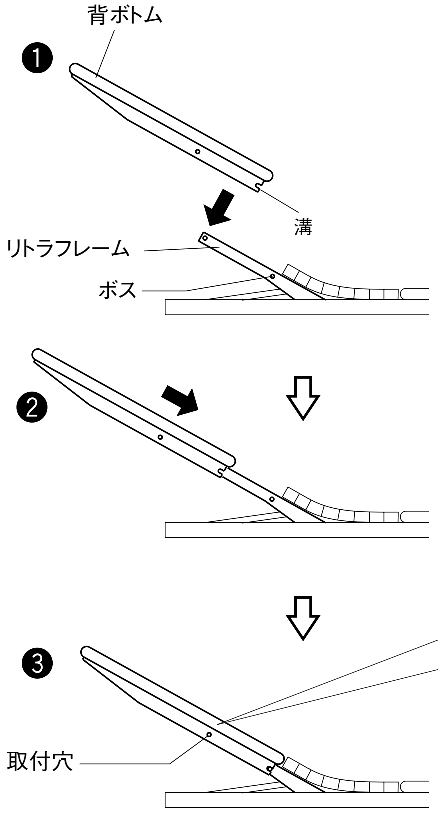
❹連結ピンの穴にスナップピンを確実に差込み、連結ピンを180゜回転させてください。



6.背ボトムの取付け



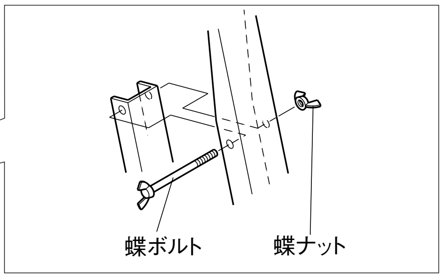
❶図のように背ボトムをリトラフレームにのせてください。



❷背ボトムを足側へスライドさせ、背ボトムの溝をリトラフレームのボスに差込んでください。

❸背ボトムとリトラフレームの取付穴（左右2カ所）に外側から蝶ボルトを差し込み、蝶ナットで締付けてください。

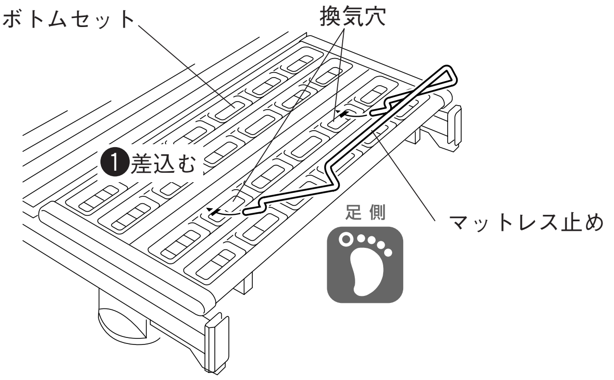
●蝶ナットは左右共、手で十分に締付けてください。（工具不要）



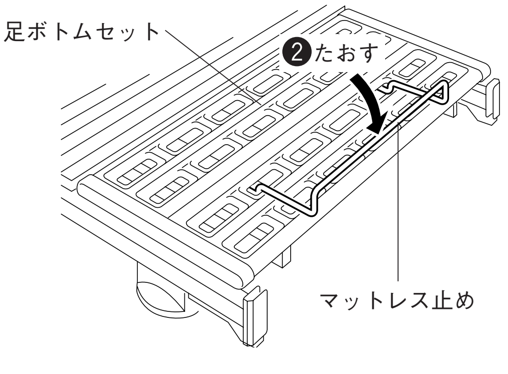
❹手元スイッチを操作して、背ボトムを一番下までさげ、電源プラグをコンセントから抜いてください。

7.マットレス止めの取付け

❶足ボトムセットの換気穴に、マットレス止めの先端を斜めに差込んでください。

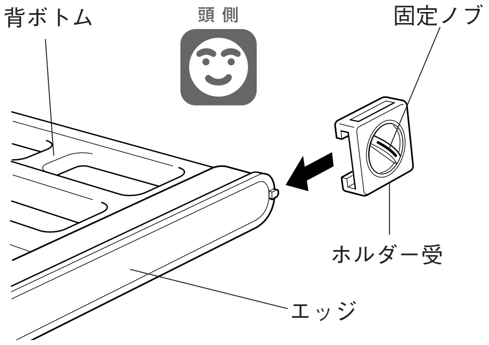


❷マットレス止めをたおしてください。

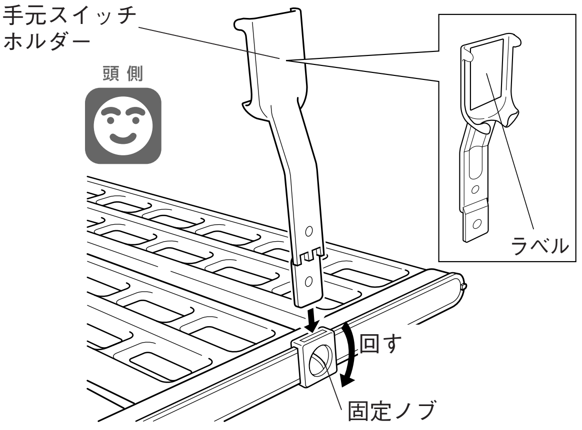


8.手元スイッチホルダーの取付け

❶背ボトムのエッジにホルダー受を差込んでください。



❷ラベルのある面を内側にしてホルダー受に手元スイッチホルダーを差込み、固定ノブを右へ回し、使いやすい位置で固定してください。
固定ノブは、硬貨でも回すことができます。

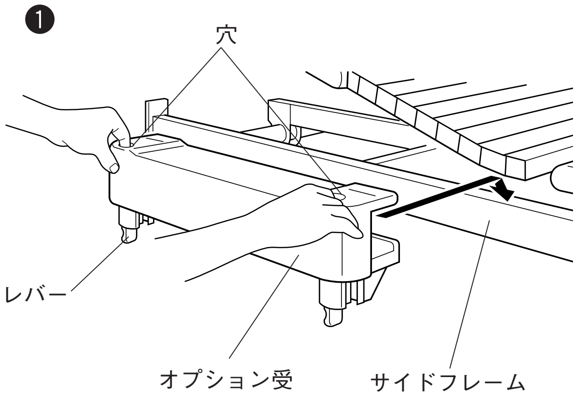


⚠ 注意（ちゅうい）	●手元スイッチホルダーは寝返りなどで顔に当たらない位置に取付けてください。目などを傷つけるおそれがあります。 ●手元スイッチホルダーは、ラベルのある面を内側にして取付けてください。 逆に取付けると破損するおそれがあります。 ●ベッドメイキングの際は、マットレスを手元スイッチホルダーに強くぶつけないよう注意してください。ホルダー受が外れたり、破損するおそれがあります。

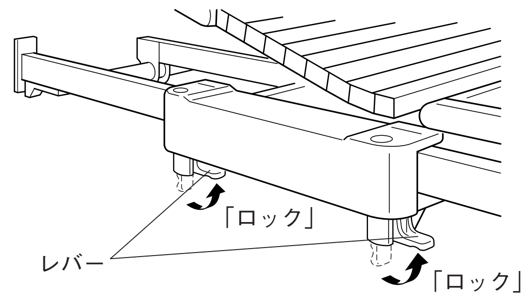
9.オプション受の取付け

■オプション受の取付け

❶



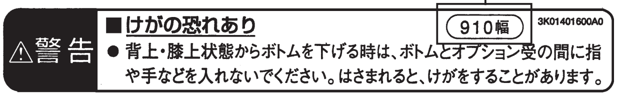
❷



■オプション受はベッド毎に形状・寸法が異なります。オプション受についている警告ラベルの表示と下記の表を参照し、必ず専用のものをご使用ください。

ボトム幅表示

警告ラベル



ベッド	オプション受
KQ-903,913	830幅用
KQ-923,933	910幅用

❶オプション受を図のように持ち、ロックを解除した状態で、サイドフレームの上からオプション取付位置にはめ込んでください。

（オプションの取付位置については、35〜38ページを参照してください。）

❷レバーを「ロック」位置にし、オプション受を固定してください。

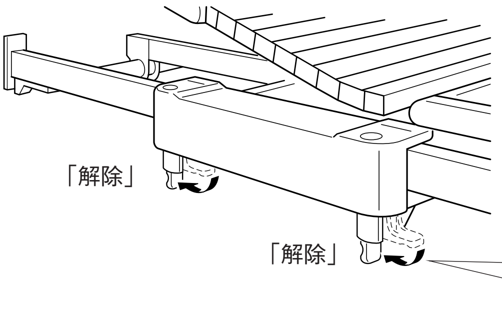
注記！

●**レバーはパチンと音がするまで確実に水平にしてください。**

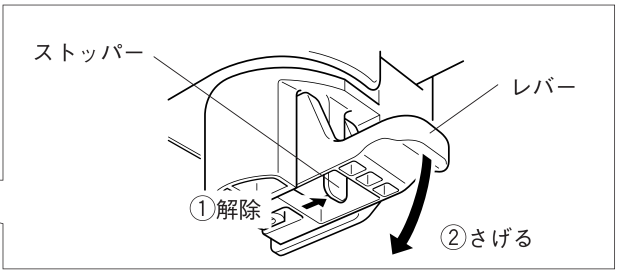
⚠注意（ちゅうい）	●オプション受は、穴に指を入れしっかりと持ってください。オプション受が分かれて落下し、けがや破損のおそれがあります。
⚠警告（けいこく）	●オプション受はボトムの幅に合ったものを取付けてください。間違ったものを取付けた場合、オプションとボトムの間にすき間ができてけがをするおそれがあります。 ●ロック状態のレバーに強い力を加えないでください。オプションが外れてけがをするおそれがあります。 ●オプション受のロックをかけ忘れたり、かけかたが不完全な場合、オプションが外れてけがをするおそれがあります。

9.オプション受の取付け

■オプション受のロック解除のしかた



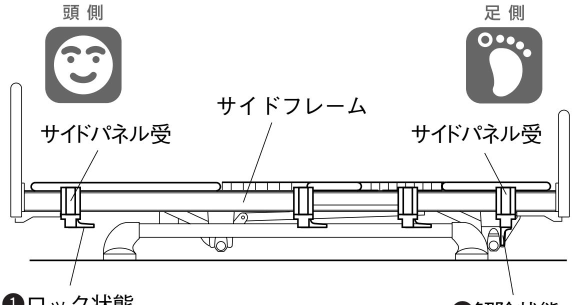
●レバー裏側のストッパーを解除しながらレバーを矢印の方向にさげてください。



注意	●ストッパーは、向かって右方向にずらしてください。逆方向にずらすと破損するおそれがあります。 ●ストッパーを解除せずにレバーをさげたり、レバーを解除した状態でストッパーに無理な力を加えるとストッパーが破損するおそれがあります。

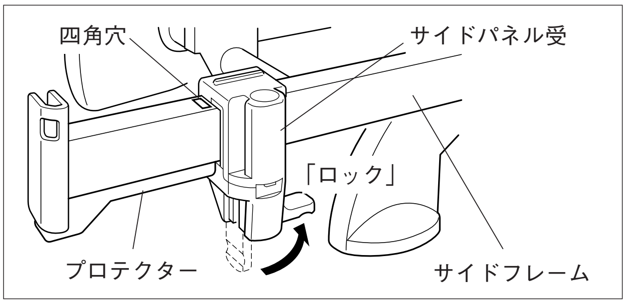
10.サイドパネルの取付け（KQ-913,923のみ）

■サイドパネル受の取付け



❶サイドパネル受をサイドフレーム頭側の四角穴を目安にはめ込み、フレームの端のプロテクターに突きあて、レバーを「ロック」位置にし、固定してください。

注記！ ●**レバーはパチンと音がするまで確実に水平にしてください。**

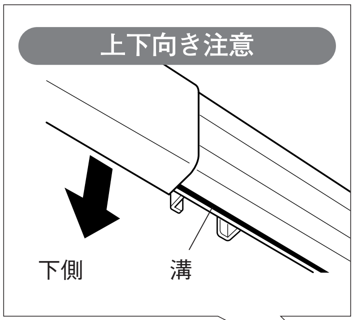


❷サイドパネル受をサイドフレーム足側の四角穴を目安にはめ込み、レバーは「解除状態」のままとしてください。

注意	●ストッパーを解除せずにレバーをさげると、ストッパーが破損するおそれがあります。

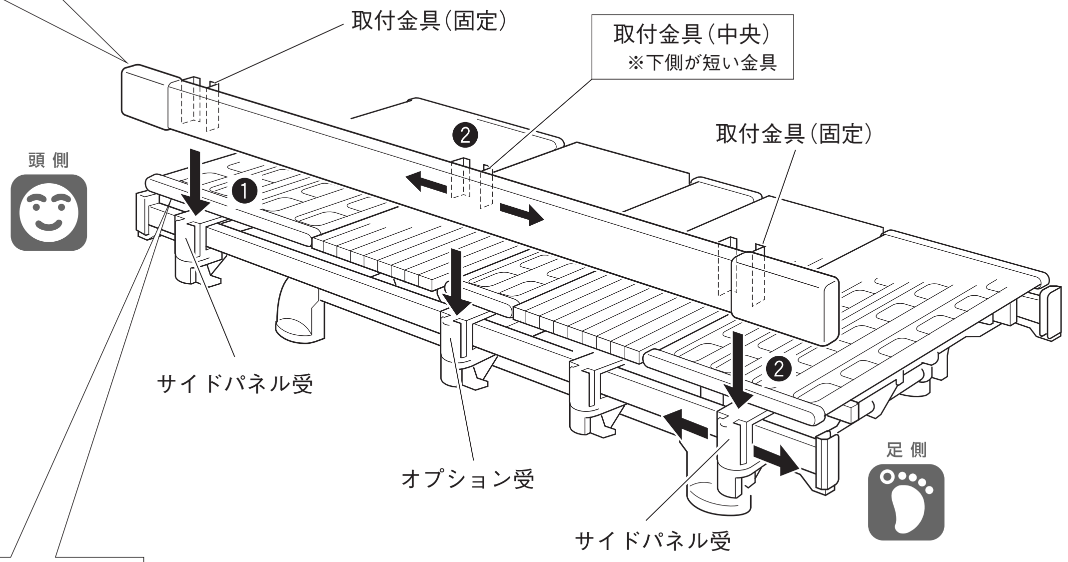
10.サイドパネルの取付け（KQ-913,923のみ）

■サイドパネルの取付け



❶頭側のサイドパネル受にサイドパネルの取付金具を真上より軽く差込んでください。

●サイドパネルは溝のある方が下側になるよう取付けてください。



❷頭側の取付位置を基準に、取付金具（中央）と仮止めしたサイドパネル受をスライドさせ、取付位置を合わせてください。

❸サイドパネルの取付金具を真上からカチッと音がするまで差込んでください。

❹仮止めした足側のサイドパネル受のレバーを「ロック」位置にし、固定してください。

❺同様に反対側のサイドパネルを取付けてください。

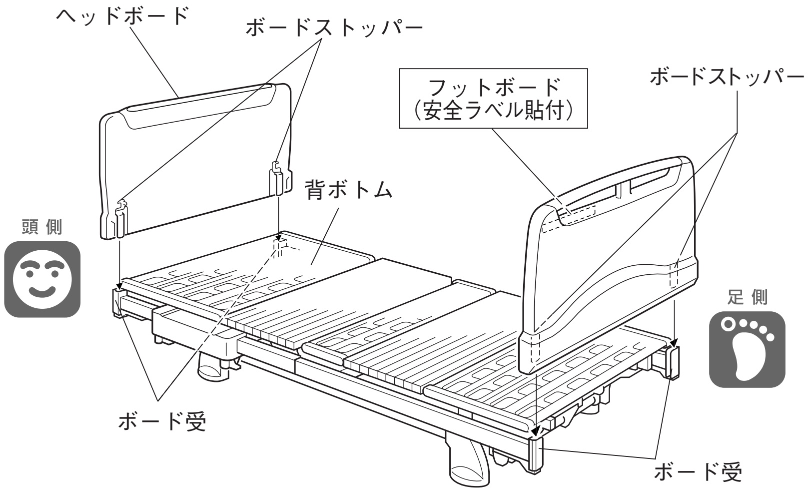
⚠ 注 意（ちゅう い）	●取付金具（中央）は、必ずベッドの中央に近いオプション受に取付けてください。取付けていない場合、サイドパネルが破損するおそれがあります。

⚠ 警 告（けい こく）	●ベッドの移動を行うときは、サイドパネルを持って行わないでください。サイドパネルが外れてけがをするおそれがあります。

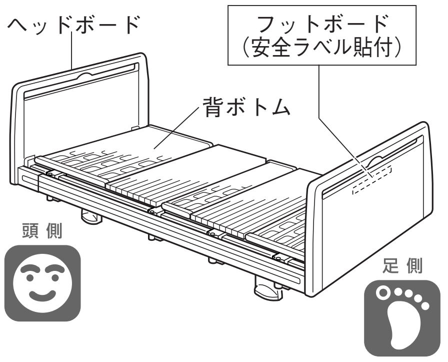
11.ヘッドボード・フットボードの取付け

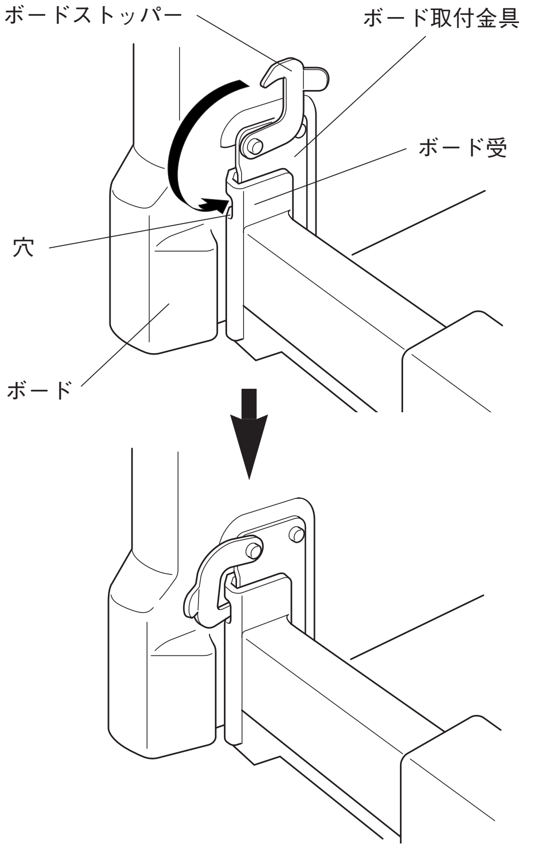
■ヘッドボード・フットボードにはボードストッパーが付いていますので、下記の手順で取付けを確実に行なってください。ヘッド・フットボードの取付けまちがいがないように、まっすぐ最後まで差込んでください。

■KQ-903・933



■KQ-913・923（木調タイプ）





❶ヘッドボード・フットボードのボードストッパーを左図のようにして差込んでください。

- **ボード取付金具がベッド側のボード受にかぶさるようにボードを差込んでください。**
- **ボードの中央部に安全ラベル（警告、注意事項が記載されているシール）が貼ってある方を足側に取付けてください。**

❷ボードストッパーがボード受の穴に確実にかかっているか、必ず確認してください。

⚠ 警告（けいこく）

- ヘッド・フットボードの取付けまちがいがないように、注意して取付けてください。

⚠ 注意（ちゅうい）

- ボードストッパーをかけ忘れたり、かけかたが不完全である場合、不意にボードがはずれてけがをするおそれがあります。

■ベッドの組立てが終わりましたら、このチェックシートで点検してください。(32〜33ページをコピーしてお使いください)

	点検項目	チェック	
1	**リンク受キャップの取付け（4ヶ所）** 4ヶ所すべてのリンク受キャップがはまり、裏のストッパー(黒色）がきちんと差込まれていますか？（右図1参照)	□はい	□いいえ **20ページ参照**
2	**ハイローアクチュエーターのロッドとハイローリンクの連結** 連結ピン小にスナップピンが差込まれていますか? (右図2参照)	□はい	□いいえ **21ページ参照**
3	**背アクチュエーターケーブルとコントロールボックスの接続** ・ケーブルが正しく配線されていますか？（右図3参照) ・コネクタのキャップをカチッと音がするまで回していますか？	□はい	□いいえ **22ページ参照**
4	**電源ケーブルの確認** ・ケーブルはベースフレームの下側に配線されていますか？ ・可動部と接触していませんか？	□はい	□いいえ **23ページ参照**
5	**手元スイッチの確認** ・ケーブルがベッドの中央から配線されていますか？ ・可動部と接触していませんか？	□はい	□いいえ **22〜23ページ参照**
6	**ひざ位置調節金具の確認（左右2ヶ所）** ・調節ピンにスナップピンが差込まれていますか？ ・左右とも同じ向きにセットされていますか？	□はい	□いいえ **24ページ参照**
7	**足ボトムセットの取付け（左右2ヶ所）** ・連結ピン大にスナップピンが差込まれていますか？ (右図7参照)	□はい	□いいえ **25ページ参照**
8	**背ボトムの取付け（左右2ヶ所）** ・蝶ボルト、蝶ナットで締付けられていますか？ (右図8参照)	□はい	□いいえ **26ページ参照**
9	**オプション受、サイドパネルの取付け**（右図9参照) ・オプション受はレバーが「ロック」位置になっていますか？ ・サイドパネルは金具3ヶ所とも固定されていますか？	□はい	□いいえ **28〜30ページ参照**
10	**電源の確認** ・プラグをコンセントに差込むと手元スイッチのランプが点灯しますか？	□はい	□いいえ **消灯→43ページ** **点滅→※1**
11	**アクチュエーターの確認** ・手元スイッチの「」ボタンを1つづつ押したとき、ランプが点滅しますか？	□点滅しない	□点滅する **43ページ参照**
12	**障害物の確認①** ・スイッチの「あたま・」を押し、背ボトムを一番上まであげたとき、家具などに当たりませんか？	□当たらない	□当たる **ベッドを移動するか、障害物を取除いてください。**
13	**障害物の確認②** ・背をあげたまま「たかさ・」を押し、ベッドを一番上まであげたとき、どこかが家具などに当たりませんか	□当たらない	□当たる **ベッドを移動するか、障害物を取除いてください。**

※1　サービスガイドに基づく調整、点検が必要です。販売店もしくは直接弊社（54ページ参照）までご連絡ください。

10 組立て後の点検

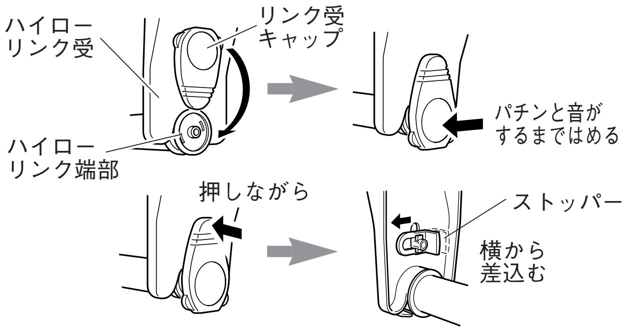
⚠ 警告（けいこく）

●組立後の点検は必ず行なってください。点検が不十分な状態で使用すると、故障や事故が発生するおそれがあります。

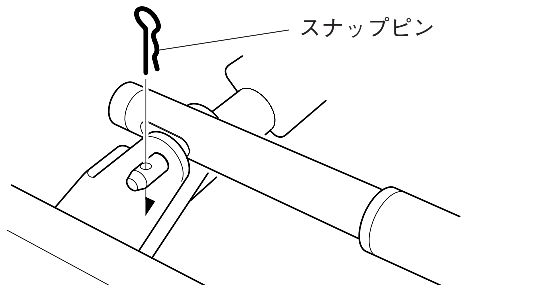
⚠ 注意（ちゅうい）

●手元スイッチを操作しながら点検作業をしている際に異常音や振動が生じた場合には、すぐにベッドの使用を中止してください。

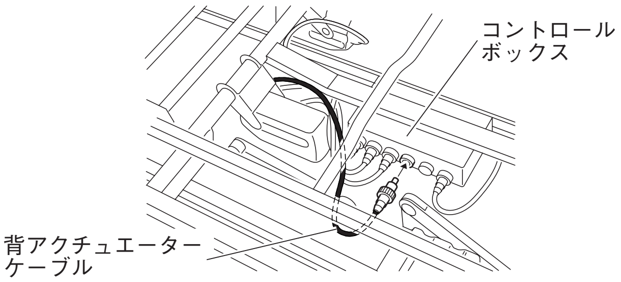
1 リンク受キャップの取付け

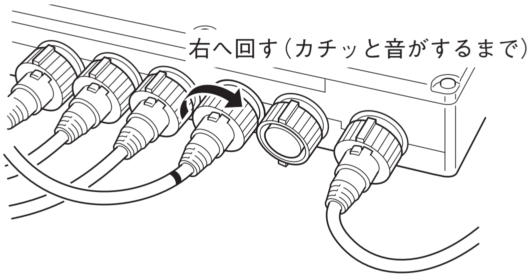


2 ハイローアクチュエーターのロッドとハイローリンクの連結

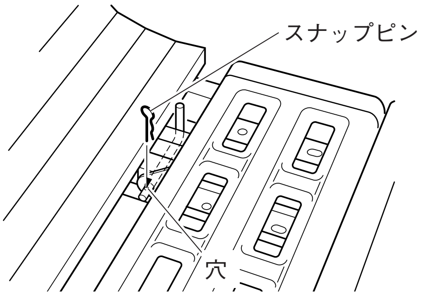


3 背アクチュエーターケーブルとコントロールボックスの接続

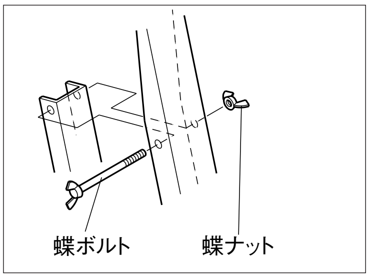




7 足ボトムセットの取付け

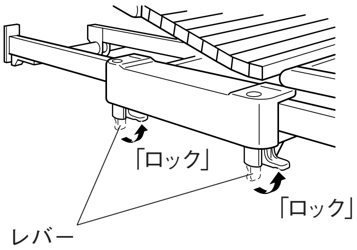


8 背ボトムの取付け

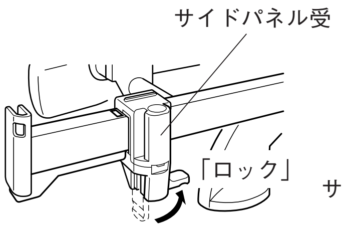


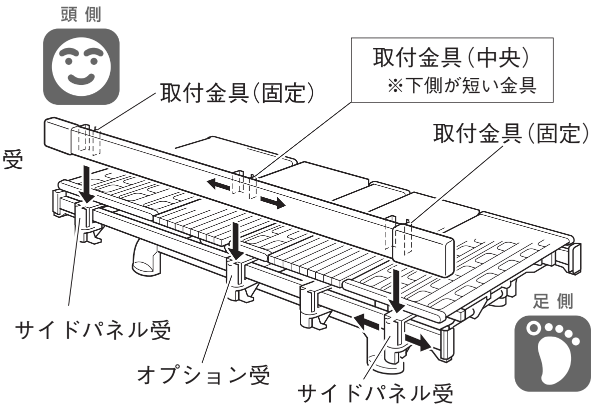
9 オプション受、サイドパネルの取付け

●KQ-903・933



●KQ-913・923

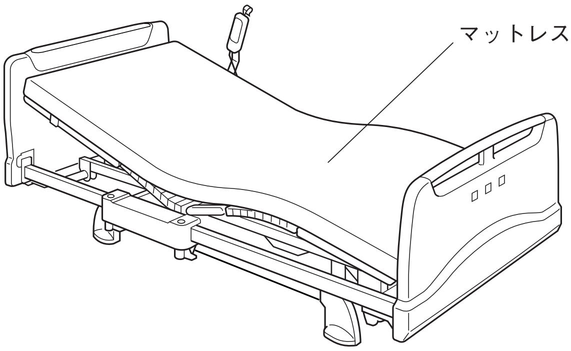




11 マットレスの使用方法とご注意

⚠ 注意（ちゅうい）	●このベッドには、必ず指定のマットレスを組合わせてご使用ください。指定以外のマットレスは、寸法や折れ曲がりの点で、適合しないだけでなく、ベッドに負担をかけ、故障の原因となることがあります。

■弊社のパラケアマットレス、プレグラーマットレス、他のマットレス（下記参照）が組合わせられます。



●KQ-903,913には83cm幅のマットレスが適合します。
KQ-923,933には91cm幅のマットレスが適合します。

KE-653（幅830mm） KE-651（幅910mm）	パラケアスーパーマットレス	●硬めのマットレスです。腰掛けた時、手をついた時の沈み込みが少なく、体の保持と安定性に優れています。ご自身でベッドからの立あがりを行う方や硬めの寝心地を望まれる方に適しています。 ●硬すぎる場合にはマットレスに敷くパッドを重ねるか、厚みのあるシーツなどを使用してください。 ●上下、表裏の区別はありません。
KE-603Q（幅830mm） KE-601Q（幅910mm）	パラケアマットレス	
KE-553Q（幅830mm） KE-551Q（幅910mm）	プレグラーマットレス	●パラケアマットレスに比べ柔らかめのマットレスです。柔軟性に優れ、キューマラインとの組合せに適しています。 ●上下、表裏の区別はありません。
KE-153Q（幅830mm）	ファータマットレス	●パラケアマットレスに比べ柔らかめのマットレスです。下記のクレーターマットレス程には柔らかくありませんので、広範囲にお使いいただけます。 ●上下、表裏の区別はありません。
KE-453（幅830mm） KE-451（幅910mm）	ポケットコイル スプリングマットレス	●スプリングコイルが列ごとに独立しているので、どの部分でも折り曲げることができ、ギャッチベッドに適しています。 ●表裏の区別はありません。
KE-763（幅830mm） KE-761（幅910mm）	クレーターマットレス	●ウレタンフォームマットレスで上記のパラケアマットレスやファータマットレスに比べ柔らかめです。ベッド上で過ごす時間の長い方に適しています。 ●表面と裏面がありますのでマットレスの表示を上にしてご使用ください。
KE-523Q（幅830mm） KE-521Q（幅910mm）	エバーフィットマットレス	●両面で硬さが異なるリバーシブル仕様になっています。ソフトフィット面は適度な体圧分散性を備えており、また、ハードフィット面はからだをしっかり支える硬さを備えております。
KE-813（幅830mm） KE-811（幅910mm）	コンフォケアマットレス	●かなり柔らかめの体圧分散マットレスです。他のマットレス同様、直接ベッドに載せて使用します。寝たきり、もしくは寝たきりに近い症状の方にお勧めします。 ●上下、表裏が決まっています（パラフロートマットレス、コンフォケアマットレスは表裏のみ）。マットレスの表示に合わせてご使用ください。
KE-803（幅830mm） KE-801（幅910mm）	マキシーフロートマットレス	
KE-853（幅830mm） KE-851（幅910mm）	パラフロートマットレス	
KE-823（幅830mm） KE-821（幅910mm）	アキュマックス	

12 オプションの取付けとご注意

1.介助バー・サイドレール・サイドサポートについて

■ベッドの両サイドのオプション取付穴を利用して、介助バー、サイドレール、サイドサポートが使用できます。

■安全のため、使用者が転落するおそれがある場合などにはサイドレールまたはサイドサポートをご使用ください。

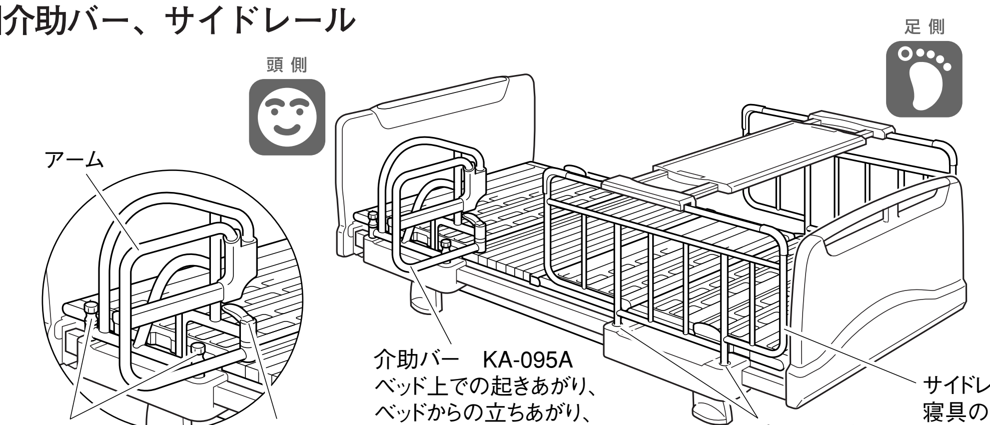
⚠ 警告（けいこく）	●オプション間のすき間やオプションとヘッド･フットボードのすき間に、頭や首が入らないように注意してください。すき間に入ると抜けなくなり、けがをするおそれがあります。

注記！

●各オプションに添付されている取扱説明書も必ずお読みください。

●ベッド用のオプションを別途購入し組合せる場合は、仕様変更等によりこの取扱説明書の記述と異なる場合があります。ご不明な点は販売店または弊社コールセンター（54ページ参照）までお問い合わせください。

■介助バー、サイドレール



サイドレール適合表	
KS-165	KA-018
KS-160	KS-125シリーズ
KS-175	KS-145シリーズ
KS-170	KS-195
KA-015	KS-190

※KS-190、KS-195はKA-095との組合わせ専用です。

介助バー適合表	
KA-095	KA-095A
	KA-095B

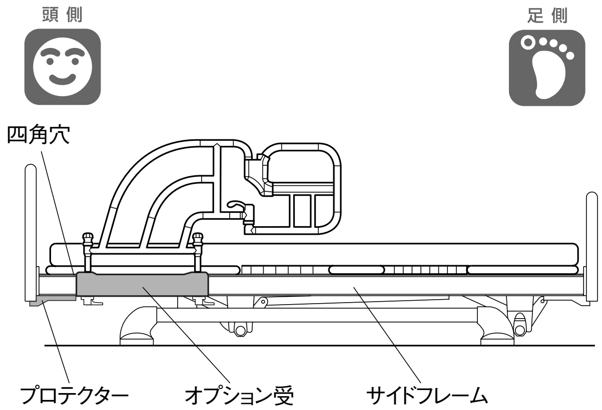
サイドレール　KS-195
寝具の落下予防に役立ちます。
2本1組

⚠ 警告（けいこく）

介助バー	介助バーは、固定ノブを締めてご使用ください。介助バーが抜けると、転倒してけがをするおそれがあります。
	ベッドの背あげ操作を行うときは、アームをベッドの内側に向けて使用しないでください。アームとベッドの間に体や手をはさまれてけがをするおそれがあります。
	アーム可動部分のロックレバーを必ずいちばんさげて固定してご使用ください。固定せずに使用しますと不安定なため、つかまったときに転倒してけがをするおそれがあります。
サイドレール	サイドレールは、ベッドで寝ている人の転落予防、寝具の落下予防を目的としています。立ちあがり時など、支えとしてお使いになる場合は介助バーをお使いください。サイドレールはベッドへの取付け、取外しが素早く行なえるように、ストッパー機構は付いておりません。体重がかかっている状態で抜けると転倒してけがをするおそれがあります。 サイドレールを取付けの際は、ヘッドボード･フットボードから大きくとび出さない向きに取付けてください。とび出したサイドレールでけがをするおそれがあります。

2.オプションの取付け位置について

■介助バーKA-095A/Bを使用する場合

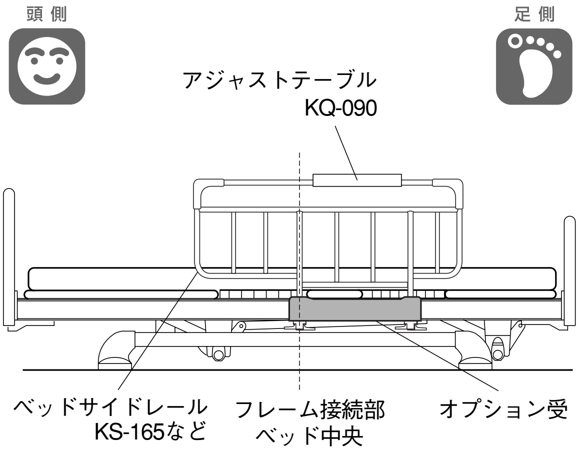


●頭側のサイドフレーム上側の四角穴にオプション受の端を合わせ、プロテクターに当たる位置を目安にオプション受を取付けてください。

⚠ 警告

●スイングアーム介助バーとベッドサイドレールは必ずオプション受に取付けて使用してください。
サイドパネル受に取付けると、オプションが固定されず、けがをするおそれがあります。

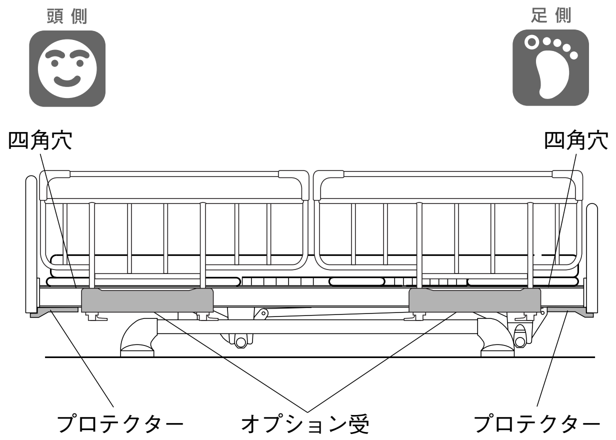
■ベッドサイドレールとアジャストテーブルKQ-090を使用する場合



●ベッド中央のフレーム接続部を目安にオプション受を取付けてください。

2.オプションの取付け位置について

■ベッドサイドレールを片側に2本使用する場合



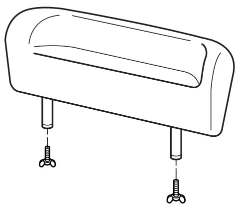
●サイドフレーム上側の四角穴にオプション受の端を合わせ、サイドフレームのプロテクターに当たる位置にオプション受を取付けてください。

●**オプション受は必ず2つ使用し、この位置に取付けてください。**

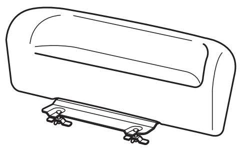
●**KQ-913,923に取付ける場合は、必ずサイドパネル受を取外し、図の位置のオプション受にサイドパネルを取付けてください。**

■サイドサポート

差込式



ボトム取付式



サイドサポート分類表	
差込式	ボトム取付式
KA-037A KA-037B	KA-038A KA-038B

※ボトム追従式は背ボトム専用です。

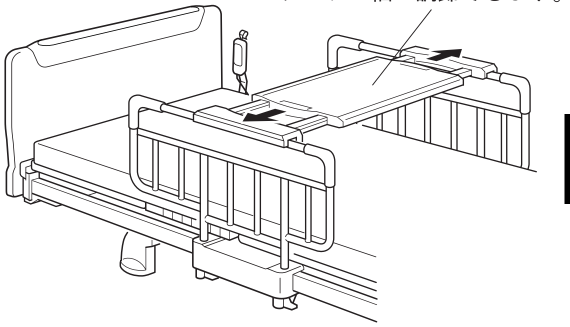
●**サイドサポートは、ご使用のマットレスに合わせて高さ調節ができます。詳細はサイドサポートの取扱説明書をお読みください。**

⚠ 警(けい) 告(こく)

●ボトム取付式は裏側の蝶ナットを確実に固定してください。
固定しないと、けがや破損の原因になります。

3.アジャストテーブル・キャスターについて

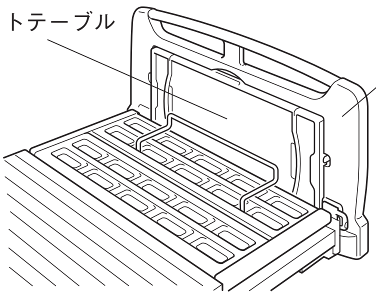
■アジャストテーブル（KQ-090）



●ベッド幅に合わせて、アジャストテーブルの幅が調節できます。

注記！

●アジャストテーブルはベッドサイドレールにのせて使用します。単独では使用できません。KS-165などと組み合わせてください。



●ご使用にならない場合は、テーブル長さを最も短かくした状態でフットボードに収納できます。（KQ-903,933のみ）

注記！

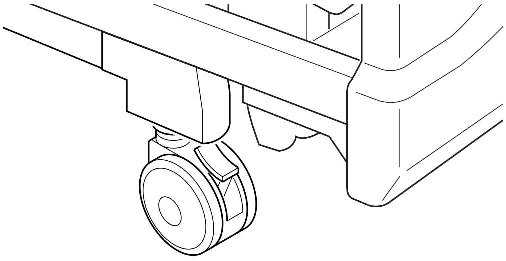
●アジャストテーブルは、両面どちら側でも収納できます。

⚠ 警(けい) 告(こく)	●アジャストテーブルをベッドサイドレールにのせた状態でベッドの背あげを行なうと、アジャストテーブルとベッドにはさまれて、けがをするおそれがあります。ベッドの背あげをしたときは、身体とアジャストテーブルの間隔が適度に保てるようにしてください。 ●食事などアジャストテーブルを使用する時以外は、必ずベッドサイドレールから外して、フットボードなどに収納してください。

⚠ 注(ちゅう) 意(い)	●アジャストテーブルに重い物をのせたままにしないでください（耐荷重15kg）。テーブルの変形や、破損するおそれがあります。

■キャスター（KQ-029）

●取り付け後の高さは、<u>脚座を取り付けた高さと同じです。</u>

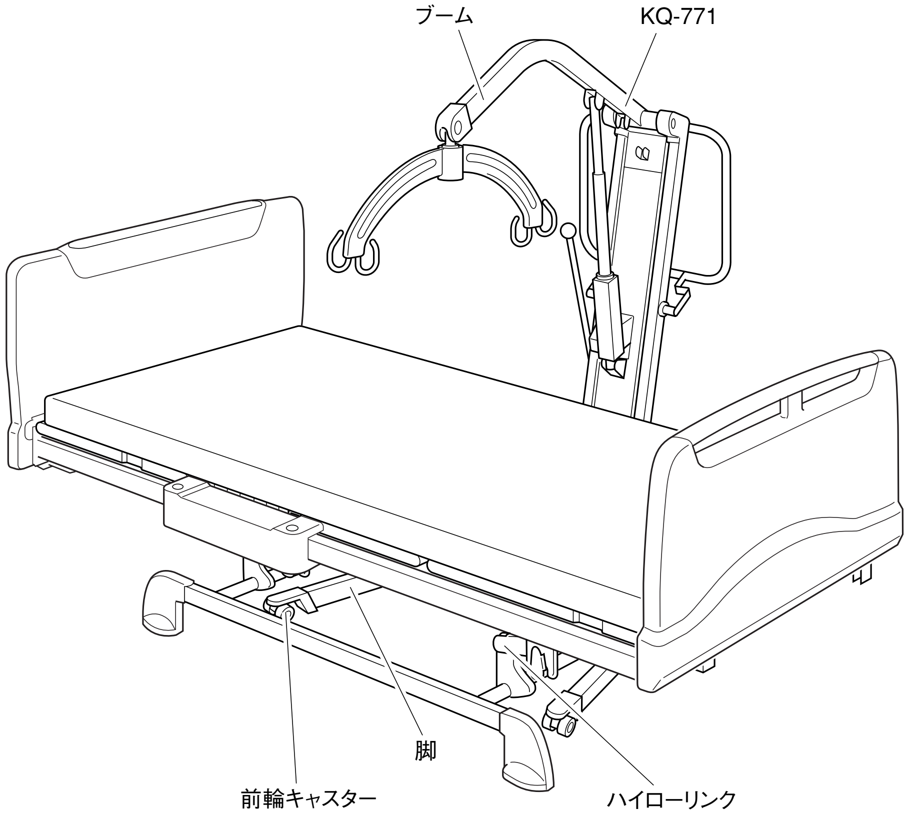


ゆかからボトム面までの高さ	30～60cm

■下記の床走行式電動介護リフトが使用できます。

●KQ-771（下図）

注記！ ●床走行式電動介護リフトに添付されている取扱説明書も必ずお読みください。



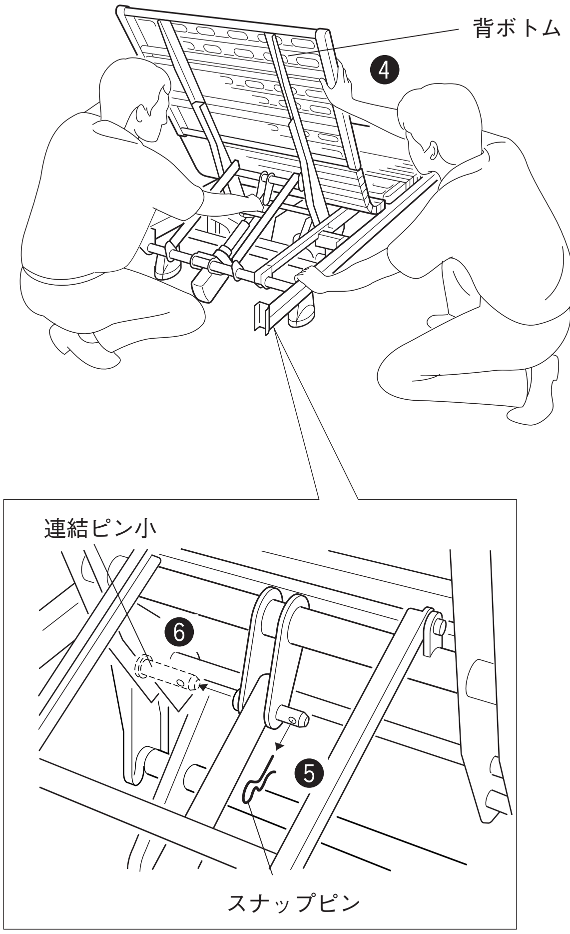
⚠警告

●ベッドをあげるとき、ブームをさげるときは、ベッドとブームの間にはさまれてけがをするおそれがありますので、十分注意してください。

●ベッドの高さをさげるときは、ハイローリンクに脚や前輪キャスターをはさまないように注意してください。はさまれるとけがや破損のおそれがあります。

14 手動による背さげ操作／停電・故障時などの対応

1.背さげのしかた



■アウラ21は、停電時やベッドの故障により背ボトムがさげられなくなった場合、手動で背ボトムをさげることができます。
背さげ操作は、以下の手順で行ってください。停電以外の理由で背ボトムがさげられなくなった場合、43ページ「故障かな？と思ったら」に従ってチェックを行ない、ベッドが故障している場合には、販売店もしくは弊社コールセンター（54ページ参照）までご連絡ください。

注記！

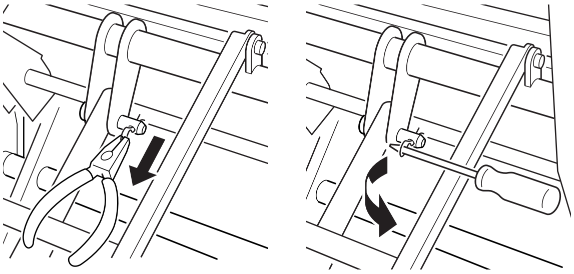
●作業は必ず2人以上で行なってください。
●手や腕をはさまれないように注意して行ってください。
●手動による膝さげ、高さ調節はできません。

使用する工具	ペンチもしくはプライヤー／ドライバー

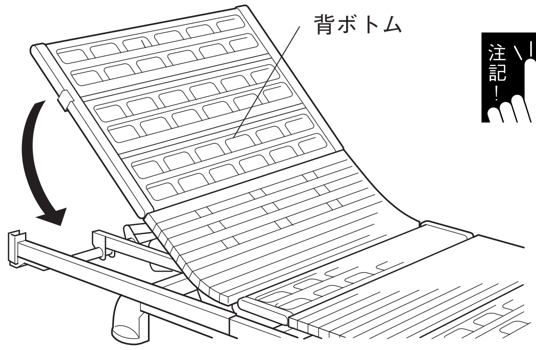
❶コンセントからベッドの電源プラグを抜いてください。
❷療養している方と寝具をベッドから降ろしてください。
❸ヘッドボードを取外し、作業しやすくしてください。
❹背ボトムを押さえてください。
❺連結ピン小についているスナップピンを取外してください。
❻連結ピン小を取外してください。連結ピン小を取外すと背ボトムが自由に動くようになります。
❼背ボトムを手で支えながら降ろしてください。
❽ヘッドボードを取付けてください。
❾寝具と療養している方をベッドに戻してください。

■スナップピンの抜き方

●ペンチやプライヤーで、はさんで引くか、もしくは、ドライバーの先でこじると取外しが容易です。



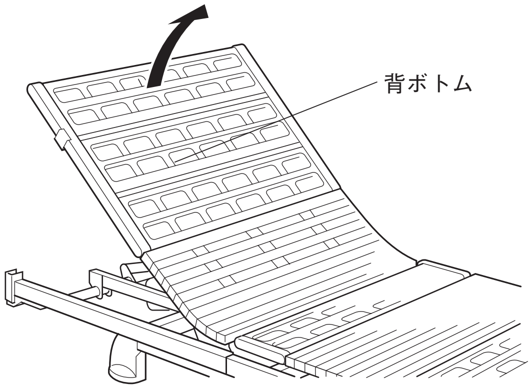
❼



注記！

●外した連結ピン小およびスナップピンは復帰の際に使用します。紛失しないよう、保管してください。
●この作業を行ったときは、復帰作業を行なってもとの状態にもどすまで、電源プラグはコンセントから抜いたままにしてください。

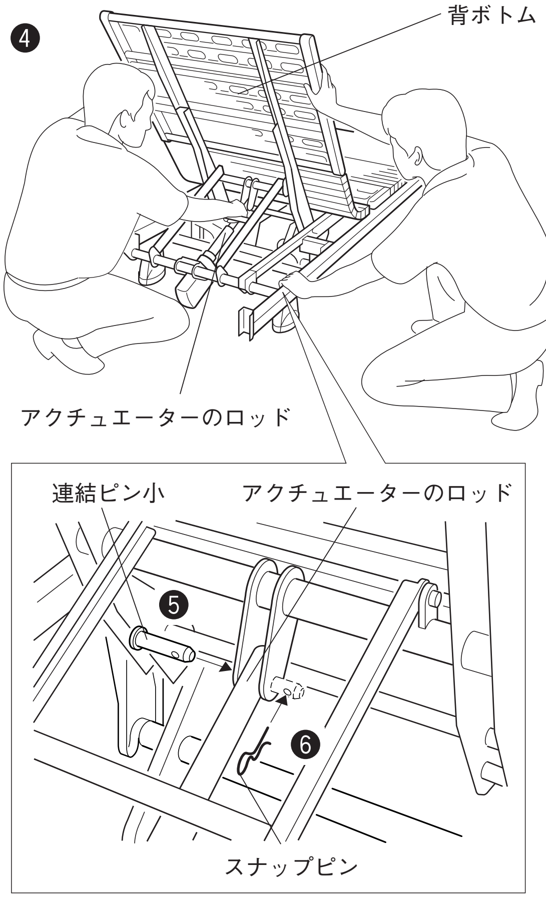
2.戻しかた



■停電の時には、電源が回復した後に、以下の手順でベッドを元の状態に戻し、32〜33ページ「組立後の点検」に従い点検を行なってください。

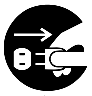
●作業は必ず2人以上で行なってください。
●手や腕をはさまないように注意して行ってください。

使用する部品	外した連結ピン小、スナップピン各1本



❶コンセントからベッドの電源プラグを抜いてください。
❷療養している方と寝具をベッドから降ろしてください。
❸ヘッドボードを取外し、作業しやすくしてください。
❹背ボトムとアクチュエーターのロッドを持あげ、支えてください。
❺外してあった連結ピン小を差込んでください。
❻連結ピン小が抜けないようにスナップピンを差込んでください。
❼ベッドの電源プラグをコンセントに差込んでください。
❽手元スイッチを操作して背ボトムを一番下までさげてください。
❾ヘッドボードを取付けてください。
❿寝具と療養している方をベッドに戻してください。

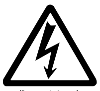
⚠ 警告



プラグを抜く

■お手入れは電源プラグを抜いて行ってください。

●誤操作によるはさまれを予防するため、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。



感電注意

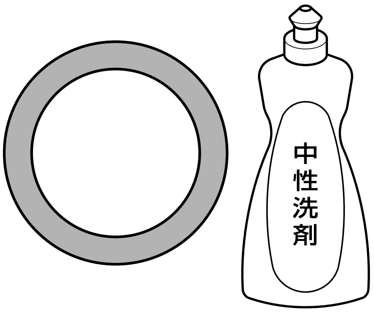
■水をかけないでください。

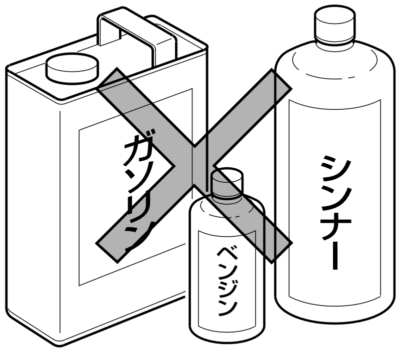
●ベッドに水をかけて掃除しないでください。ショートして感電のおそれがあります。

■ベッド本体

●清拭する場合は、水で薄めた中性洗剤に浸した布をよくしぼって拭き、その後水で浸した布をよくしぼって残った洗剤分をふき取ってください。最後に乾いた布でふき取ってください。

※揮発性のもの（シンナー、ベンジン、ガソリンなど）は使用しないでください。





■サイドレール、介助バー、オーバーテーブル

●上記ベッド本体のお手入れと同様に行ってください。

■サイドサポート

●サイドサポートに添付されている取扱説明書の指示に従ってください。

■マットレス

●使用状態や発汗の程度に応じて2週間～4週間に1回程度、ベッドから降ろし、風通しの良い日陰で干してください。マットレス内部の湿気を取り除くと快適にお使いいただけます。

※マキシーフロートマットレス、パラフロートマットレス、アキュマックスなど、取扱説明書のあるものは、その指示に従ってください。

16 故障かな？と思ったら

■故障でない場合がありますので、修理を依頼する前にもう一度、以下の項目をチェックしてください。
それでも直らないときは、ただちにベッドの使用を中止して電源プラグをコンセントから抜き、販売店または弊社コールセンターに修理をご依頼ください。

	症　状	チェック	処　理
手元スイッチを押しても動かない	●手元スイッチのランプが消えている。	●コンセントに電気がきていますか？	●コンセントに他の電気器具を付けて確認してください。
		●電源プラグはコンセントに差込まれていますか？	●電源プラグをコンセントに差込んでください。
		●手元スイッチのコネクタがコントロールボックスの差込部から外れていませんか？（3ページ参照）	●手元スイッチのコネクタを差込んでください。
	●手元スイッチのランプが点灯している。 スイッチを押したら点滅に変わった。	●アクチュエーターのケーブルがコントロールボックスから外れていませんか？（3ページ参照）	●アクチュエーターのコネクタを差込んでください。 電源プラグを抜き、10秒後にもう一度プラグをコンセントに差込んでください。 上限または下限まで動かしてみてください。
		●連続使用しましたか？ アクチュエーターが加熱した可能性があります。	●約20分放置して、アクチュエーターが冷えるのを待ってください。 ●アクチュエーターの過熱を防止する保護回路が働いたためで故障ではありません。
角度または高さが出ない		●可動部分に障害物がありませんか？	●障害物を取り除いてから電源プラグを抜き、10秒後にもう一度プラグをコンセントに差込んでください。 上限または下限まで動かしてみてください。 ●可動部分付近には物を置かないでください。

●修理のご依頼やお問い合せの際は、製品識別表示ラベルに表示された番号もあわせてご連絡ください。

17 長期保管と移動（移設）について

保　　管

■長期にわたりベッドをご使用にならないときは、下記の点にご注意ください。
●高温・多湿・ほこりの多い場所を避けてください。温度−10℃〜50℃、湿度30〜90％RHの環境で保管してください。
●取扱説明書を紛失しないよう、いつでも見られる場所に保管してください。

1.組みあがった状態でベッドを保管する場合
●背ボトム、足ボトムを水平にしてください。
●ベッドの高さを最低位置までさげてください。
●ベッドの上にはマットレス以外のものを載せないでください。
●マットレスの上には何も載せないでください。
●ベッドは壁に立て掛けたりせず、ゆかに水平のまま保管してください。
●電源プラグをコンセントから抜いて、はさんだり踏んだりしない場所に束ねておいてください。

2.分解して保管する場合
（ベッドの分解は販売店にご依頼されることをお勧めします。）
●45〜52ページの分解の手順に従って行ってください。
※使用を再開する場合は、32〜33ページの手順に従って点検を行ってください。

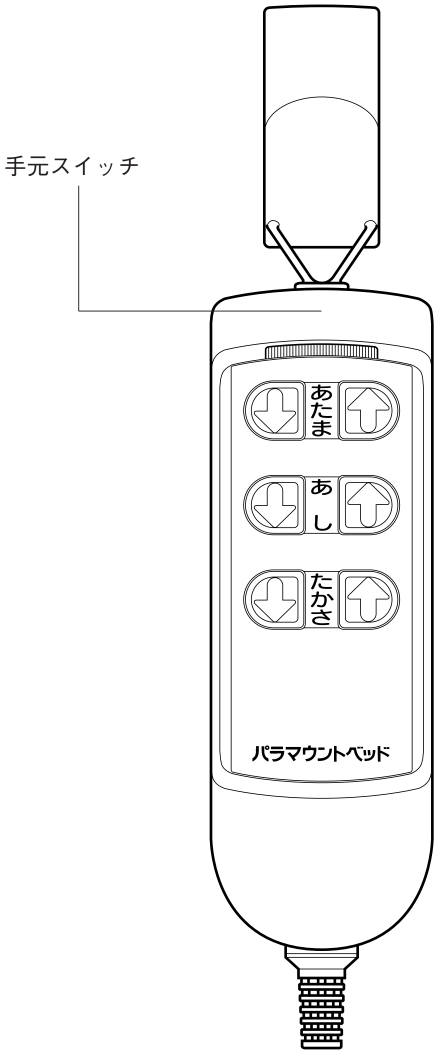
移動（移設）

1.組みあがった状態でベッドを移動（移設）させる場合
●背や腰を痛めないよう、少なくとも4人で運んでください。
●ベッドで療養している方、寝具、マットレス、オプション（サイドレール、介助バーなど）は降ろしてください。
●アクセサリー枠を持って移動させてください。
●手元スイッチ、電源コード、電源プラグを破損、キズから守るため束ねてベッド本体に固定して運んでください。

2.分解して移動（移設）させる場合
（ベッドの分解は販売店にご依頼されることをお勧めします。）
●45〜52ページの分解の手順に従って行ってください。

18 ベッドの分解方法

販売店にご依頼することをお勧めしますが、ご自分で行う場合は以下の手順に従ってください。



1.オプション・寝具の取外し

❶ベッドのオプション（アジャストテーブル、ベッドサイドレールなど）をベッドから取外してください。

❷寝具をベッドから降ろしてください。

❸マットレスをベッドから降ろしてください。

2.手元スイッチの操作

❶電源プラグをコンセントに差込んでください。

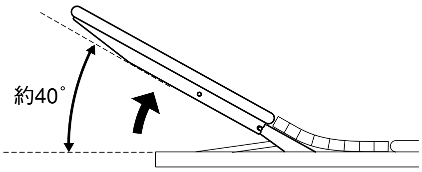
❷「たかさ」「下ボタン」ボタンを押してベッドを一番低くしてください。

❸「あし」「下ボタン」ボタンを押して足ボトムセットを一番低くしてください。

❹背ボトムを取外しやすいよう「あたま」「上ボタン」ボタンを押して左図に示すぐらいの角度(約40°)まで背ボトムをあげてください。

❺電源プラグをコンセントから抜いてください。

■背あげ角度の目安

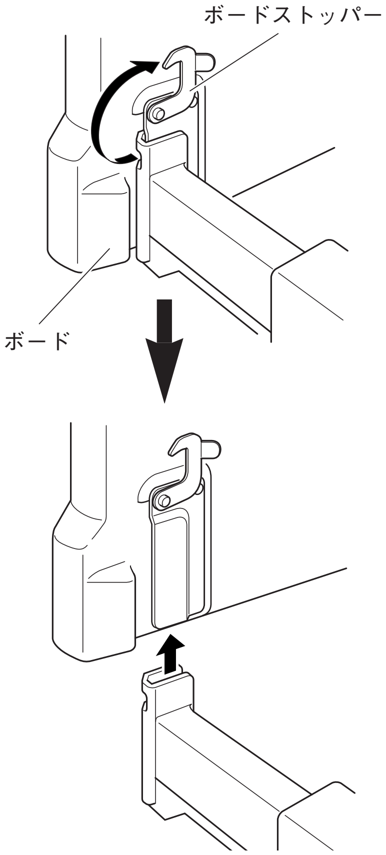


⚠ 警告（けい こく）

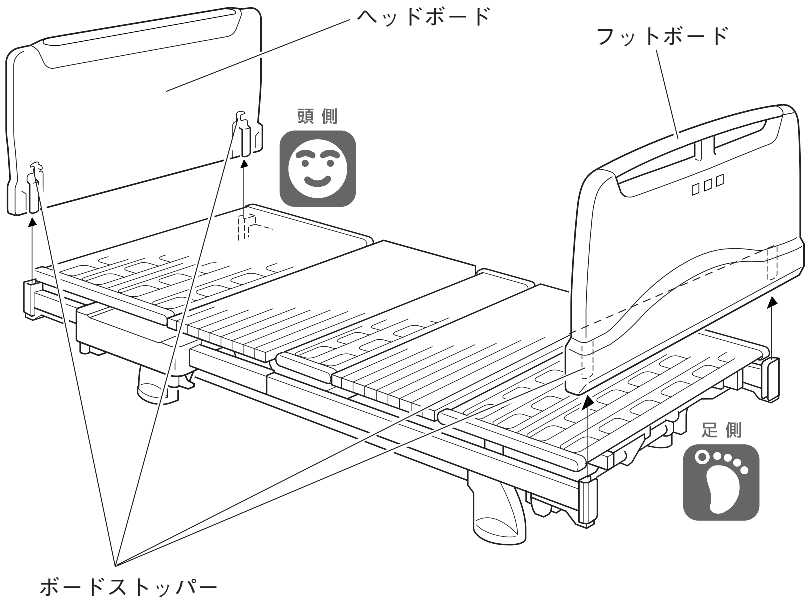
●ベッドの分解は、必ずベッド高さをさげた状態で行ってください。
ベッドがあがった状態で分解しますと、部品の落下など思わぬけがや故障のおそれがあります。

3.ヘッドボード・フットボードの取外し

❶ヘッドボードの左右のボードストッパーを外してください。
❷ヘッドボードを真上にまっすぐ持ちあげ、取外してください。
❸フットボード左右のボードストッパーを外してください。
❹フットボードを真上にまっすぐ持ちあげ、取外してください。

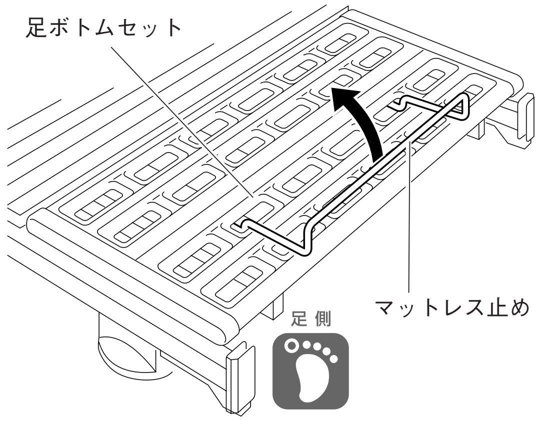


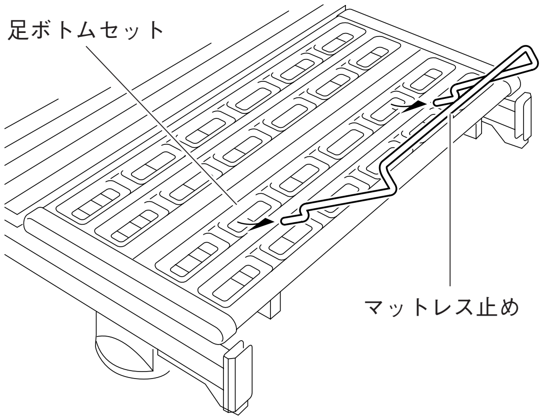
●図はKQ-903,933を示しています。



4.マットレス止めの取外し

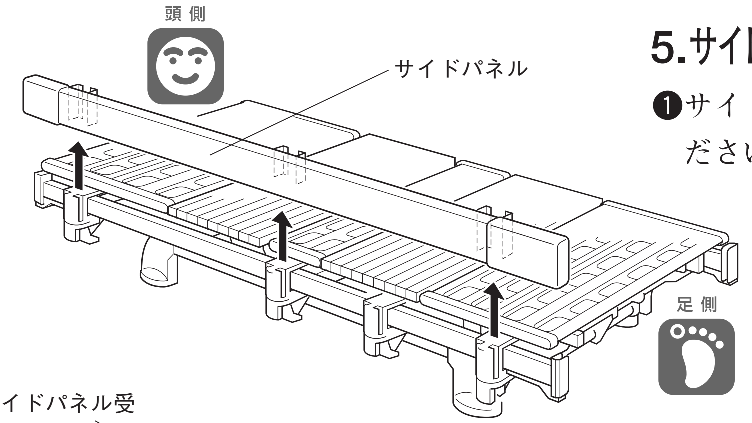
❶マットレス止めを足側から斜めに持ちあげて、抜いてください。



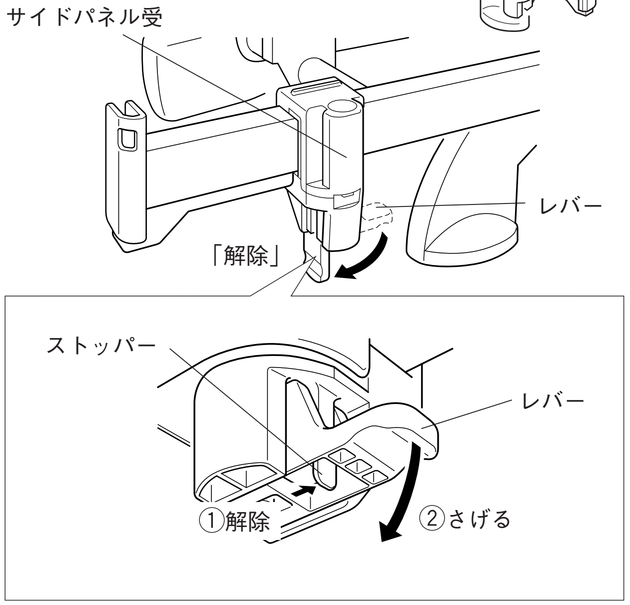


5.サイドパネルの取外し（KQ-913･923のみ）

❶サイドパネルを真上に引抜き、取外してください。

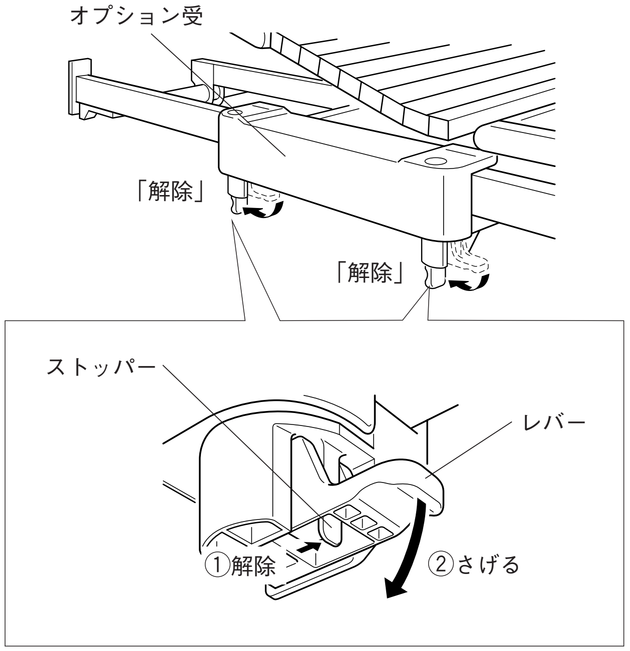


❷レバー裏側のストッパーを解除しながらレバーを矢印の方向にさげ、サイドパネル受を取外してください。



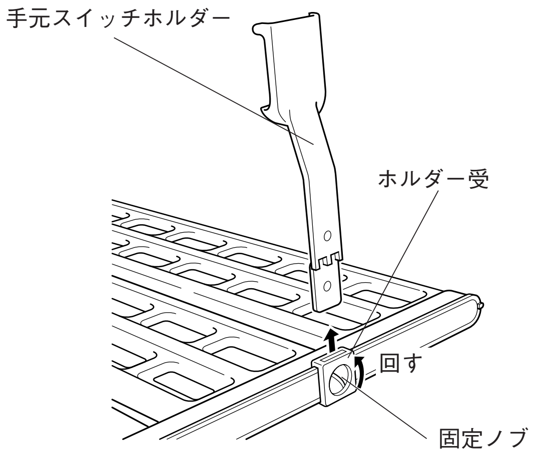
6.オプション受の取外し

❶レバー裏側のストッパーを解除しながらレバーを矢印の方向にさげ、オプション受を取外してください。



⚠ 注意（ちゅうい）

●ストッパーを解除せずにレバーをさげると、ストッパーが破損するおそれがあります。



7.手元スイッチホルダーの取外し

❶ホルダー受の固定ノブを左に回し、手元スイッチホルダーを上へ抜取り、再度固定ノブを右側へ回し、固定してください。

注記!

●固定ノブが回しにくい場合は、硬貨を使って回してください。

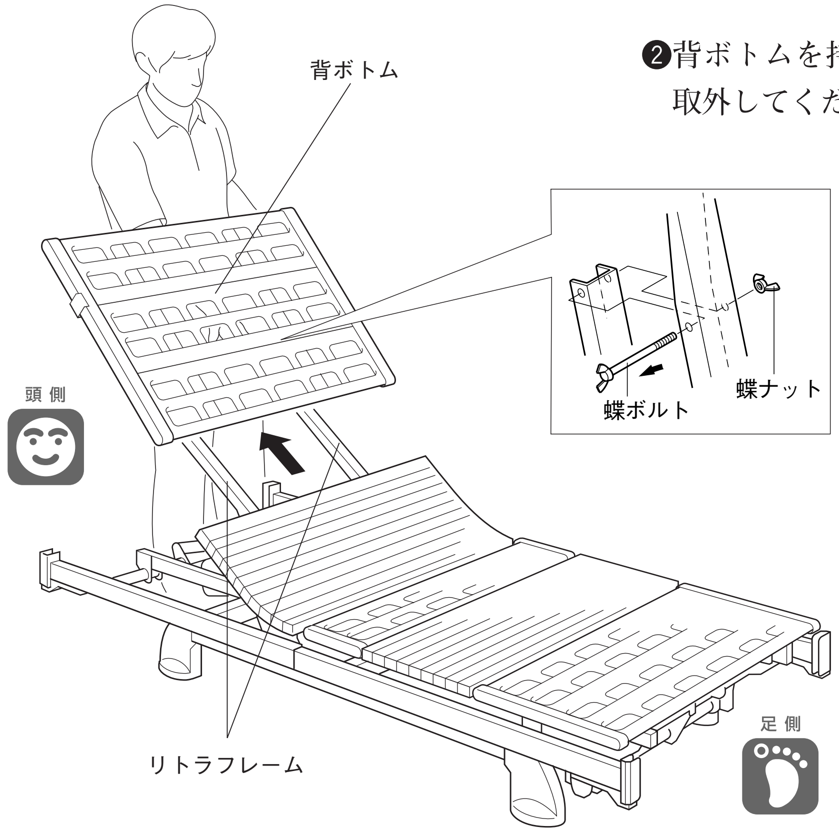
8.背ボトムの取外し

❶背ボトム裏の蝶ナット（2カ所）を取外し、蝶ボルトを引抜いてください。

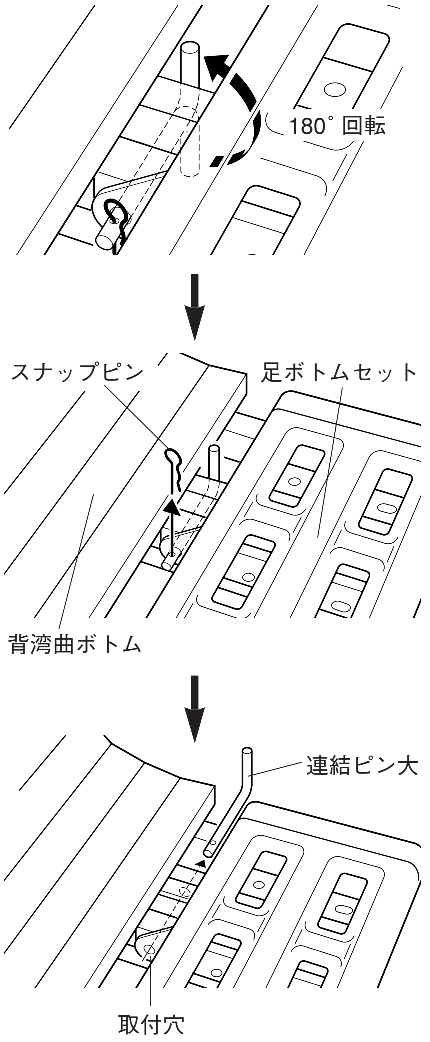
注記!

●取外した蝶ボルト・蝶ナットは紛失しないように保管してください。

❷背ボトムを持ちあげ、リトラフレームから取外してください。



9.足ボトムセットの取外し

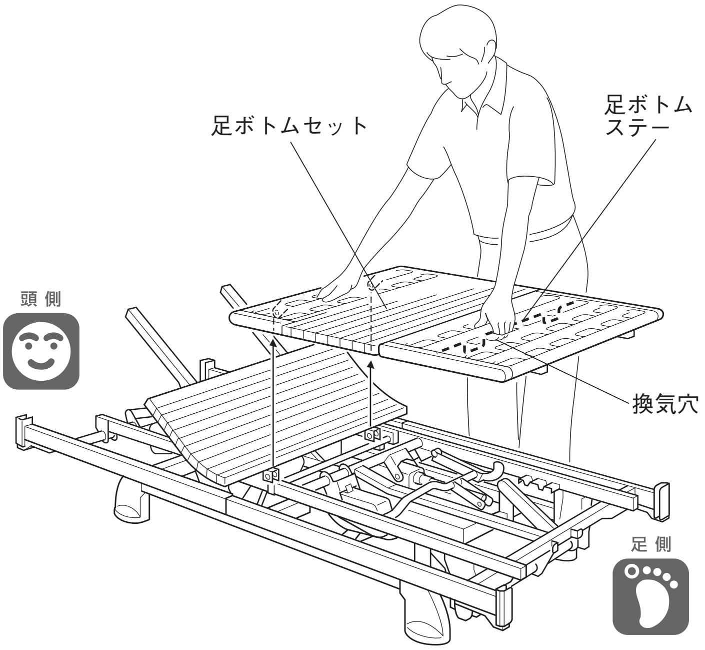


❶連結ピン大を180°回転させてください。

❷スナップピンを抜いて、ブラケットと駆動部を連結している連結ピン大を抜取ってください。

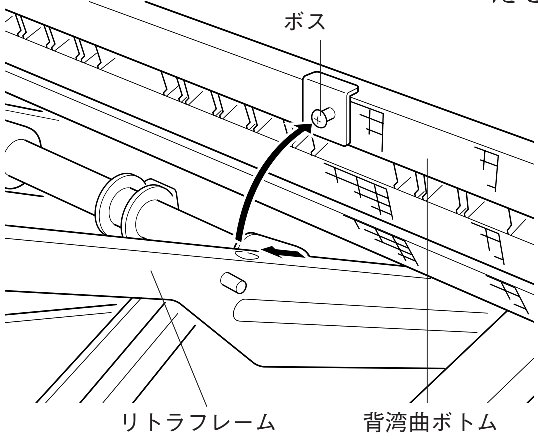
●取外した連結ピン大・スナップピンは紛失しないように保管してください。

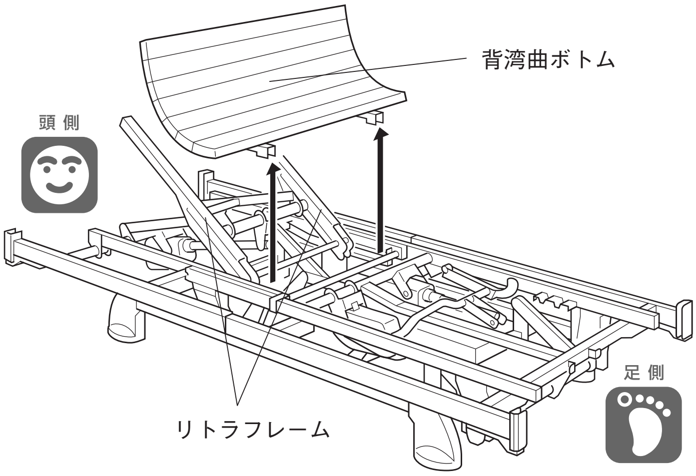
❸下図のように足ボトムステーをけがをしない様に換気穴の上からつかんで持ちあげ、取外してください。



10.背湾曲ボトムの取外し

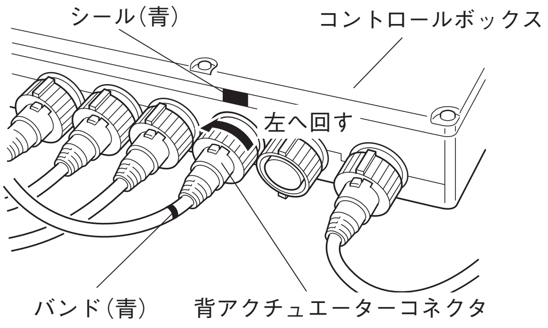
❶背湾曲ボトムを頭側に引きながら、左右のボスをリトラフレームから抜取り、背湾曲ボトムを駆動部から取外してください

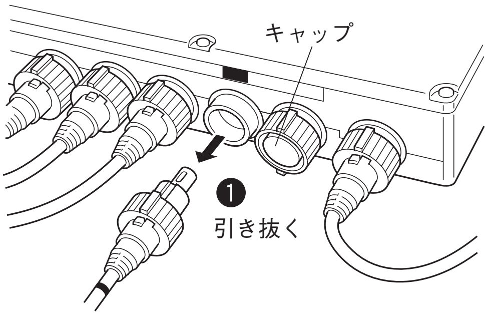


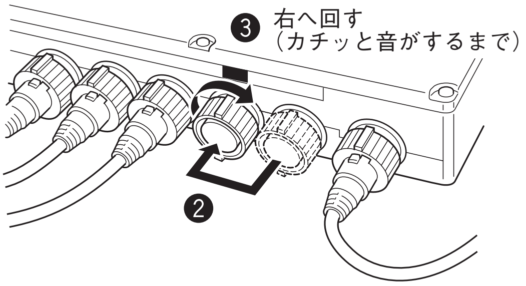


11.駆動部の取外し

■ヘッド側駆動部（Q903H）の取外し







❶背アクチュエーターのコネクタのキャップを左側へ回して引抜き、背アクチュエーター側へ引出してください。

❷背アクチュエーター差込部（青色）右の差込部のキャップを取外し、背アクチュエーターの差込部に取付けてください。

❸キャップの凸部が真上にくるよう、カチッと音がするまで右に回してください。

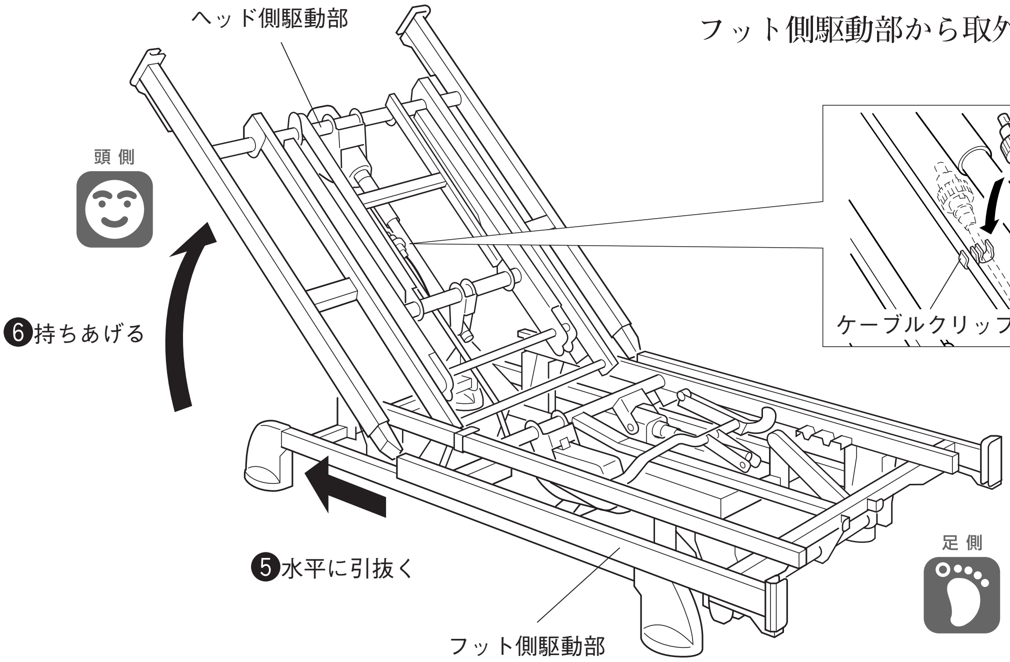
注記！

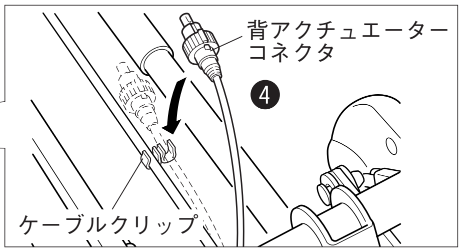
●差込部を保護するため、キャップの移動は必ず行なってください。

❹抜き取った背アクチュエーターケーブルのコネクタの根元をヘッド側駆動部のケーブルクリップに取付けてください。

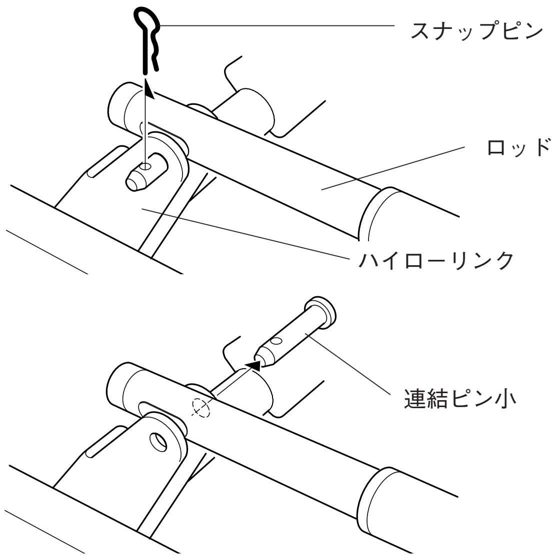
❺ヘッド側駆動部を頭側へ水平に引抜いてください。

❻ヘッド側駆動部を図のように持ちあげ、フット側駆動部から取外してください。





■フット側駆動部（Q903F）の取外し



❶スナップピンを抜き取り、ハイローアクチュエーターのロッド先端とベースフレームのハイローリンクを連結している連結ピン小を抜き取ってください。

注記！

●取外した連結ピン小・スナップピンは紛失しないように保管してください。

❷ハイローリンク受裏側のストッパーをスライドさせ「解除」位置にしてください。

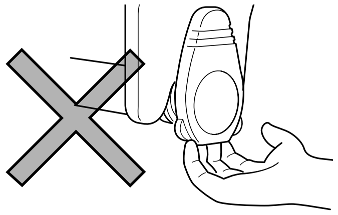
❸リンク受キャップを片側（左・右どちらでも可）へ寄せながら、

❹リンク受キャップの寄せた側の突起部に親指の腹を掛け、こじるように手前へ開いて外し、

❺リンク受キャップを上方向へ回してください。（4カ所）

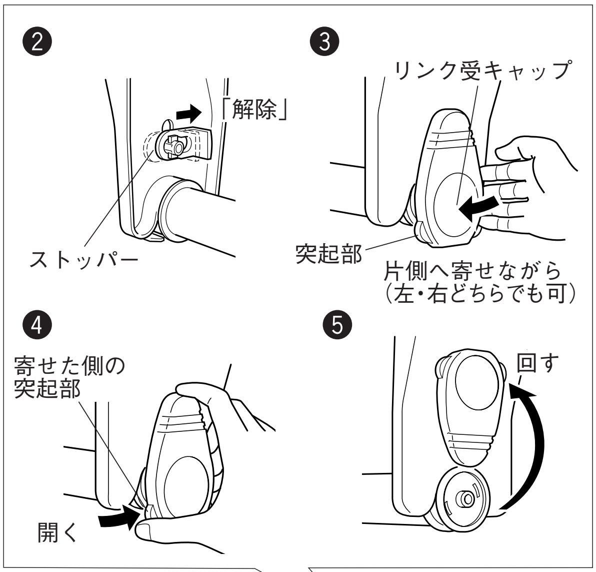
⚠ 警告

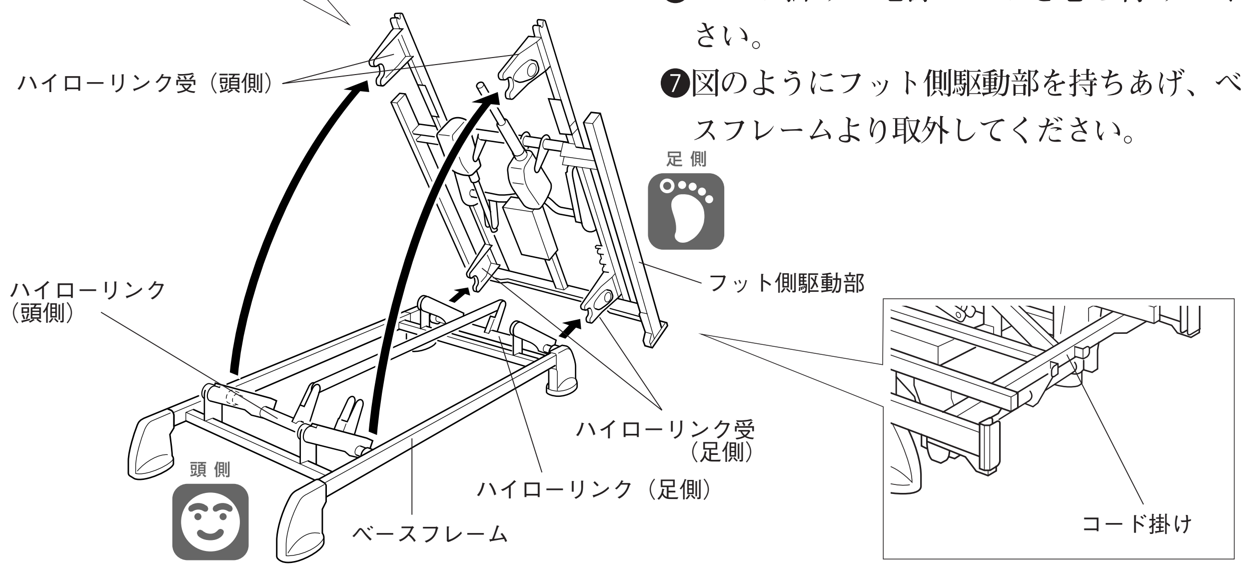
●リンク受キャップの取外しは、突起部以外の場所に爪や指先を掛けて行わないでください。けがをする恐れがあります。



❻コード掛けに電源コードを巻き付けてください。

❼図のようにフット側駆動部を持ちあげ、ベースフレームより取外してください。

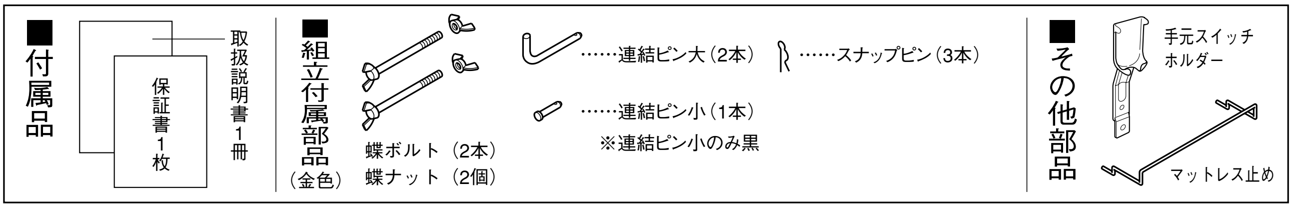




12.付属部品と分解したユニットの保管

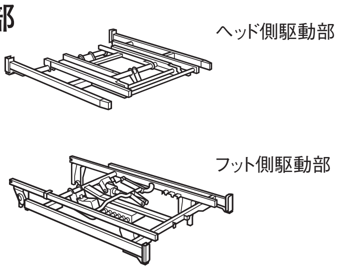
■付属品、組付部品、その他部品の保管

ベッドを分解した後、本取扱説明書および下記の組立付属部品、その他の部品は紛失しやすいので、袋などに入れて駆動部と一緒に保管してください。



■付属品、組付部品、その他部品の保管

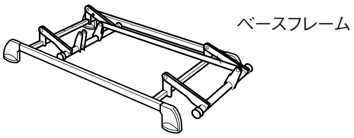
❶駆動部



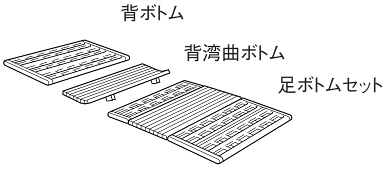
●手元スイッチ、電源コードは、紛失しないよう束ねて上記の付属部品と一緒に保管してください。

●梱包するときは、取扱説明書、付属品などが梱包されていることを見やすい所に明記しておくと後日、開梱するときに便利です。

❷ベースフレーム

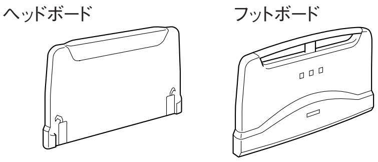


❸ボトムセット



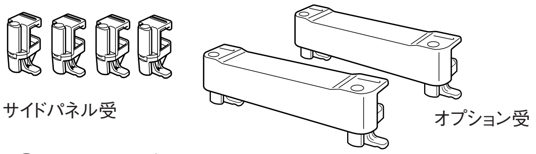
●背湾曲ボトム、足ボトムセットの湾曲部は、破損を防ぐため、逆に曲げないように取扱ってください。

❹ボードセット

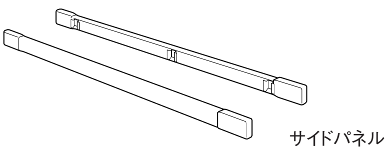


●ボードを重ねる時は、金具でボードが傷付かないようにあてものをしてください。

❺オプション受・サイドパネル受



❻サイドパネルセット



●サイドパネルは、変形を防ぐため、まっすぐな状態で保管してください。

1.保証書

保証書は、必ず「販売店」や「お買い上げ日」などが記入されているか確かめてお受け取りください。記載内容をよくお読みいただき、大切に保管してください。
保証期間はお買い上げ日より1年間です。

日付の記入が無い場合は、ベッドお買い上げの領収書を保証書と一緒に保管してください。

2.修理を依頼されるとき

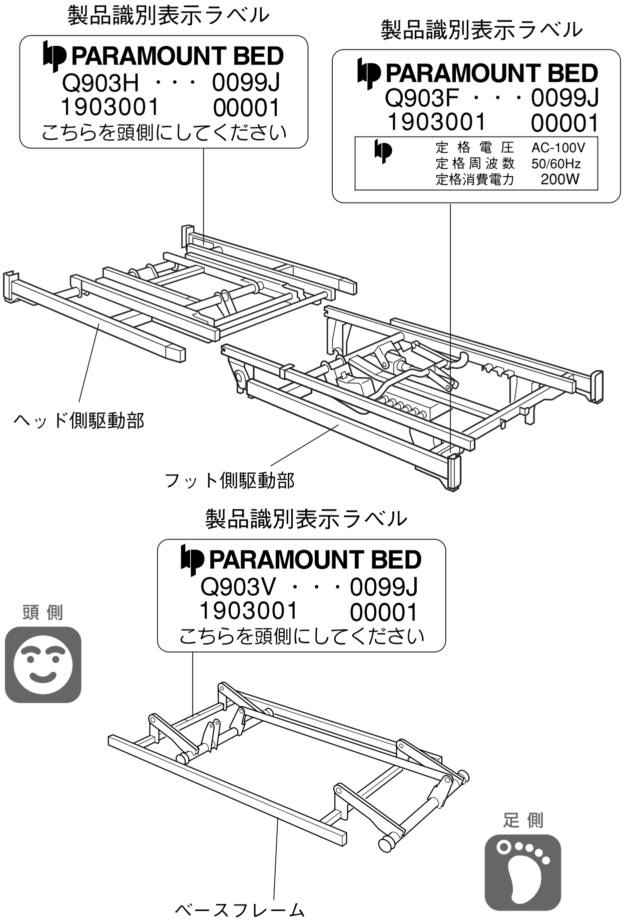
取扱説明書の16.故障かな？と思ったら(43ページ)を参照して調べてください。それでも直らないときは、ベッドの電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げ販売店または弊社コールセンター（54ページ参照）にご連絡ください。

保証期間内は

保証書の記載内容に基づき無償で修理いたします。
ただし保証期間内でも修理が有償になる場合があります。詳しくは保証書をご覧ください。

連絡していただきたい項目

●品名、品番、製品識別表示ラベルの番号



●お買い上げ日

●故障または異常の内容（できるだけ詳しく）

●お名前、ご住所、電話番号

消耗部品について

手元スイッチ、ローラー類は消耗部品であり、使用頻度、取扱等により消耗した場合は保証期間中でも有償修理となります。

保証期間がすぎているときは

修理により使用できる製品については、ご要望により有償で修理いたします。

3.部品の最低保有年数は

弊社では、ベッドの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間を製造打切後6年としております。

4.アフターサービスについてご不明な場合

お買い上げ販売店、または弊社コールセンターまでお問い合わせください。

コールセンター ☎0120-54-8639

受付時間　平日9：00〜17：20（土・日・祝日・夏季休業・年末年始休業を除く）

本社	〒136-8670	東京都江東区東砂2丁目14番5号 東京営業部	☎(03)3648-1171（代）
札幌支店	〒060-0062	札幌市中央区南2条西13丁目318番地11	☎(011)271-1181（代）
仙台支店	〒984-0015	仙台市若林区卸町2丁目3番地の3	☎(022)239-5211（代）
さいたま支店	〒338-0001	さいたま市中央区上落合9丁目4番7号	☎(048)852-0707（代）
横浜支店	〒194-0004	東京都町田市鶴間1715番地1	☎(042)795-8800（代）
名古屋支店	〒461-0001	名古屋市東区泉1丁目20番17号	☎(052)963-0600（代）
大阪支店	〒550-0001	大阪市西区土佐堀2丁目3番33号	☎(06)6443-8791（代）
広島支店	〒733-0011	広島市西区横川町3丁目8番5号	☎(082)293-1311（代）
高松支店	〒761-8031	高松市郷東町223番1	☎(087)881-8800（代）
福岡支店	〒812-0013	福岡市博多区博多駅東3丁目14番20号	☎(092)461-1131（代）

PARAMOUNT BED

'04.12
製版：株式会社 創英